# 鳥取県道路大型構造物長寿命化修繕計画 (改訂版)



令和7年3月 (令和7年10月 一部改訂)

県土整備部 道路企画課

## 目 次

| 1.   | 背景と目的・・・・・・・・・・・・1                                  |
|------|---|
| 2.   | 鳥取県の取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2                     |
| 3.   | 道路大型構造物の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3                 |
| 4.   | 健全性の把握・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4              |
| 5.   | 健全性の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5                 |
| 5. 1 | <b>健全性評価の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b> |
| 5. 2 | 部材単位の健全性評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・      |
| 5. 3 | 施設単位の健全性評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7                 |
| 6.   | 定期点検結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8              |
| 6. 1 | 点検結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8               |
| 6. 2 | 各構造物の損傷の傾向 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·    |
| 7.   | 道路大型構造物長寿命化修繕計画の基本方針                                |
| 7. 1 | 道路大型構造物長寿命化修繕計画の流れ・・・・・・・・・・・・・13                   |
| 7. 2 | 道路大型構造物長寿命化修繕計画の流れ・・・・・・・・・・・・・・・25                 |
| 8.   | 道路大型構造物長寿命化修繕計画の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・26               |
| 8. 1 | 管理水準の設定・補修実施時期の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・26                |
| 8. 2 | 年度別事業費の算定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28                     |
| 8. 3 | 優先順位の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33                      |
| 8. 4 | 事業費の平準化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38                    |
| 8. 5 | 今後 100 年間の維持管理のために必要な事業費41                          |
| 9.   | 道路大型構造物の維持管理フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・42                  |
| 10.  | おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43              |

#### 1. 背景と目的

#### 1.1 背景

鳥取県が保有する公共施設及び土木インフラは、高度経済成長期を中心に多数整備されており、今後、 それらの老朽化に伴い維持管理費用の増加が懸念されます。一方で、人口減少や少子高齢化の進行に伴う 税収の減少、社会保障費の増加などにより、鳥取県の財政状況は厳しさを増しています。

こうした問題を解決するため、鳥取県では土木インフラ全般について「鳥取県インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定し、土木インフラの機能不全や重大事故による社会経済活動の停滞を招かないよう、適切な維持管理によるインフラ機能の維持・コスト縮減・予算の平準化を図っています。

#### 1.2 目的

道路構造物の中でも道路上空を横過するなど、安全性への配慮が重要な道路大型構造物(横断歩道橋、門型標識等、道路情報提供装置、シェッド、大型カルバート)の維持管理手法について、従来の「事後保全」から「予防保全」を基本としたメンテナンスサイクルに転換しコスト縮減を図るとともに、予算を平準化することを目的として「鳥取県道路大型構造物長寿命化修繕計画」を策定しました。











図 1.1 対象構造物

#### 2. 鳥取県の取組み

道路構造物については道路法施行規則の改正(平成26年3月31日公布、7月1日施行)により、国が定める統一的な基準によって5年に1回の頻度で、近接目視により定期的に点検を行うことが義務付けられました。道路大型構造物もその対象となります。

定期点検の対象となる大型構造物は**表 2.1** のとおりで、代表的な点検項目と適用基準は**表 2.2** のとおりです。

表 2.1 对象道路大型構造物一覧

| 構造物分類                     | 対象数  |
|---------------------------|------|
| 横断歩道橋                     | 19 橋 |
| 門型標識等(高さ制限3基を含む)          | 32 基 |
| 道路情報提供装置 (門型のみ)           | 11 基 |
| ロックシェッド(3ヶ所),スノーシェッド(1ヶ所) | 4ヶ所  |
| 大型カルバート                   | 21 基 |

表 2.2 適用基準一覧

|            | 項目                        | 適用基準                 | 点検頻度  |  |
|------------|---------------------------|----------------------|-------|--|
| 横断歩道橋      | • 横断歩道橋本体工                | 横断歩道橋定期点検要領(平成31年4月) |       |  |
| 定期点検       | ・附属物の取付                   | 鳥取県県土整備部 道路企画課       |       |  |
| 門型標識等      | ・標識本体工                    |                      |       |  |
| 定期点検       | ・支柱・取付部                   | 門型標識等定期点検要領(平成31年4月) |       |  |
| 道路情報提供     | • 道路情報提供装置本体工             | 鳥取県県土整備部 道路企画課       | 5年に1回 |  |
| 装置定期点検     | ・支柱・取付部                   |                      |       |  |
| シェッド定期     | ・シェッド本体工                  | 2. 18 上期より3 1 放力地上松田 |       |  |
| 点検         | ・附属物の取付                   | シェッド、大型カルバート等定期点検要   |       |  |
| 大型カルバート    | ・大型カルバート本体工               | 領(平成31年4月)鳥取県県土整備部 道 |       |  |
| 定期点検       | ・附属物の取付                   | 路企画課                 |       |  |
|            | <ul><li>通常パトロール</li></ul> |                      |       |  |
| 学的 201 日 1 | ・定期パトロール                  | 自時間等的傑曲。             | 本本    |  |
| 道路パトロール    | <ul><li>夜間パトロール</li></ul> | 鳥取県道路管理パトロール実施要領     | 適宜    |  |
|            | ・異常時パトロール                 |                      |       |  |

#### 3. 道路大型構造物の現況

道路大型構造物の建設年次を整理すると図3.1のグラフのようになります。

横断歩道橋やシェッドについては建設後40年以上経過するものが、ほぼ半数に上りかなり老齢化が進んでいます。大型カルバートについては、建設後20年未満の新しいものが半数以上を占めています。

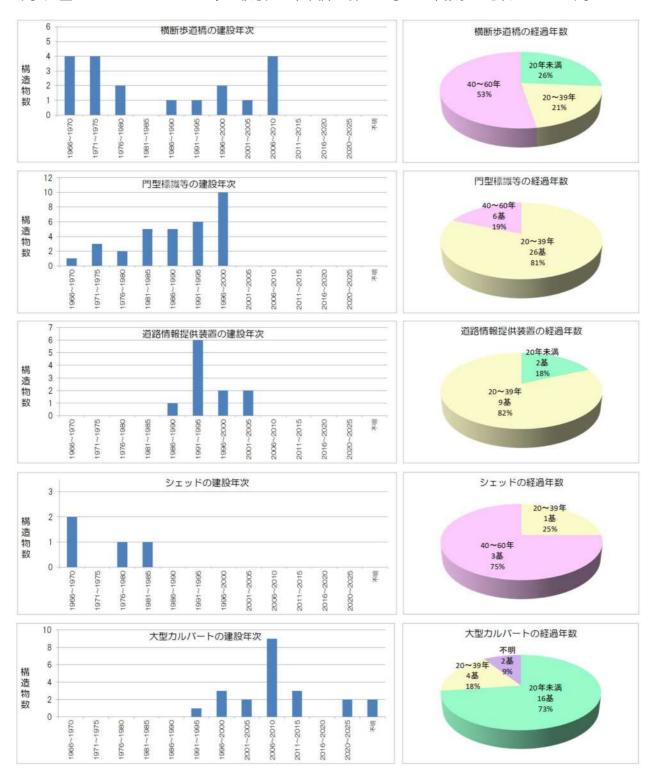


図 3.1 対象構造物の建設年次及び経過年数

#### 4. 健全性の把握

鳥取県では令和3年度までに、点検要領<sup>注1,2,3</sup>に基づき、ほとんどの対象構造物について近接目視による 2巡目点検を実施しました。点検時に対象とした主な損傷の種類は、**表4.1**のとおりです。

表 4.1 道路大型構造物の主な損傷の種類

| 材料の種類    | 損傷の種類                        |  |  |  |
|----------|------------------------------|--|--|--|
| 鋼部材      | 腐食、き裂、破断、変形・欠損・摩耗、ゆるみ・脱落、その他 |  |  |  |
| コンクリート部材 | ひびわれ、コンクリートの浮き、その他           |  |  |  |
| その他      | 支承の機能障害、その他                  |  |  |  |



(1)横断歩道橋



(2) 門型標識等



(3) 道路情報提供装置



(4) 大型カルバート



(5)シェッド

写真 4.1 道路大型構造物の点検状況

- 注 1) 横断步道橋定期点検要領 平成 31 年 4 月 鳥取県県土整備部 道路企画課
- 注 2) 門型標識等定期点檢要領 平成 31 年 4 月 鳥取県県土整備部 道路企画課
- 注3) シェッド、大型カルバート等定期点検要領 平成31年4月 鳥取県県土整備部 道路企画課

#### 5. 健全性の評価

#### 5.1 健全性評価の流れ

健全性評価とは、道路大型構造物の機能に対する支障の有無及び措置の緊急度を判定することであり、定期点検結果により把握された損傷状態に基づき評価します。

- ① 定期点検において、健全性の診断の根拠となる構造物の現在の状態を、近接目視により把握します。
- ② 部材ごとに、次回定期点検までの間の措置の必要性について総合的な診断を行い、健全性を4段階で評価します。
- ③ 各部材の健全性をもとに、施設単位で総合的な健全性を4段階で評価します。

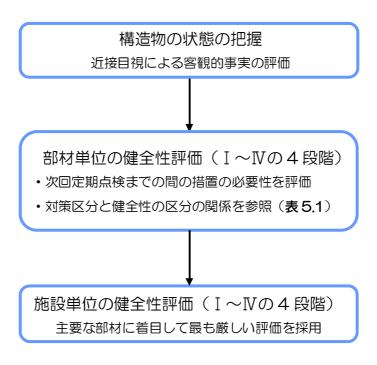


図 5.1 大型構造物の健全性評価の流れ

#### 5.2 部材単位の健全性評価

IV

緊急措置段階

各部材の対策区分を踏まえて、部材単位の健全性を表 5.1 の判定区分で評価します。

態。

区分 定義 措置の基本的考え方 構造物の機能に支障が生じていな 監視や対策を行う必要のな Ι 健全 い状態。 い状態 構造物の機能に支障が生じていな 状況に応じて、監視や対策を 予防保全段階 いが, 予防保全の観点から措置を講  $\prod$ 行うことが望ましい状態 ずることが望ましい状態。 構造物の機能に支障が生じる可能 早期に監視や対策を行う必 早期措置段階 性があり、早期に措置を講ずべき状  $\mathbf{III}$ 

要がある状態

る状態

緊急に対策を行う必要があ

表 5.1 健全性の判定区分

出典)横断歩道橋定期点検要領 平成31年4月 鳥取県県土整備部 道路企画課 門型標識等定期点検要領 平成31年4月 鳥取県県土整備部 道路企画課 シェッド、大型カルバート等定期点検要領 平成31年4月 鳥取県県土整備部 道路企画課

構造物の機能に支障が生じている,

又は生じる可能性が著しく高く,緊

急に措置を講ずべき状態。

#### 5.3 施設単位の健全性評価

部材単位の健全性評価を踏まえて、施設単位の健全性(I, II, III, III) を総合的に評価します。その際の区分も表 5.1 の判定区分(I, II, III, III, III) を用います。

施設単位の健全性は、基本的に構造物の性能に影響を及ぼす主要な部材に着目し、その中で最も厳しい健全性の評価結果を施設単位の健全性とすることを基本とします。ただし、損傷が局所的な場合等はその限りではありません。また、その他の部材についても、損傷により第三者被害が発生する可能性があるものについては、施設単位の健全性に反映します。

各構造物の主要な部材とその他の部材の分類は以下のとおりです。

#### 表 5.2 各構造物の主要部材

#### 〇横断歩道橋

| 主要な部材  | 上部工(主桁・床版、横梁、縦桁)<br>下部工・基礎(橋台、橋脚)<br>支承、落橋防止装置 |
|--------|--|
| その他の部材 | 路上部(舗装、地覆、高欄・防護柵、排水施設、添加物)                     |

#### 〇門型標識等

| 主要な部材  | 支柱(支柱本体、支柱基部、その他)<br>横梁(横梁本体、溶接部・継手部)   |
|--------|---|
| その他の部材 | 標識板等(標識板、その他(灯具等))<br>基礎(基礎コンクリート部、アンカーボルト・ナット)<br>ブラケット(ブラケット本体、ブラケット取付部)<br>その他 |

#### 〇道路情報提供装置

| 主要な部材  | 支柱(支柱本体、支柱基部、その他)<br>  横梁(横梁本体、溶接部・継手部)   |
|--------|---|
| その他の部材 | 標識板等(道路情報板、その他(灯具等))<br>基礎(基礎コンクリート部、アンカーボルト・ナット)<br>ブラケット(ブラケット本体、ブラケット取付部)<br>その他 |

#### Oシェッド

#### 〇大型カルバート

| 主要な部材  | 本体工 (頂版、側壁、底版)<br>翼壁 (ウイング) |
|--------|-----------------------------|
| その他の部材 | 路上部                         |

#### 6. 定期点検結果

#### 6.1 点検結果

令和3年度までに実施した定期点検の結果により、以下のことがわかりました(大型カルバート2基は令和4年に竣工であり、初回点検が令和7年の予定)。

#### ≪健全性の状況≫

- ○いずれの構造物についても、緊急措置が必要となる「健全性IV 緊急措置段階」のものはありませんでした。
- ○横断歩道橋の3橋、門型標識等の6基、道路情報提供装置の1基、シェッドの3ヶ所が早期に措置を講ずべき状態である、「健全性III 早期措置段階」となっています。

|    | 健全性    | 横断歩道橋 | 門型標識等 | 道路情報<br>提供装置 | シェッド | 大型<br>カルバート |
|----|--------|-------|-------|--------------|------|-------------|
| Ι  | 健全     | 3 橋   | 5 基   | 2 基          | _    | 1 基         |
| П  | 予防保全段階 | 13 橋  | 21 基  | 8 基          | 1ヶ所  | 18 基        |
| Ш  | 早期措置段階 | 3 橋   | 6 基   | 1 基          | 3ヶ所  | _           |
| IV | 緊急措置段階 | _     | _     | _            | _    | _           |
|    | 合 計    | 19 橋  | 32 基  | 11 基         | 4ヶ所  | 19 基        |

表 6.1 点検結果 (健全性評価結果)

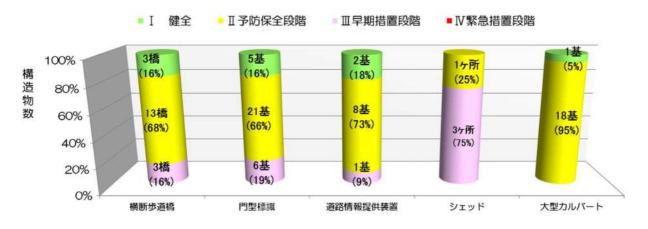


図 6.1 点検結果 (健全性の分布)

#### 6.2 各構造物の損傷の傾向

#### (1) 横断歩道橋

横断歩道橋では、定期的に修繕が実施されており、健全度Ⅲの割合は比較的低い。また損傷が局所的な場合があるため、施設単位の健全性Ⅲの割合も低くとどまっています。



図 6.2 部材別の健全性評価結果(横断歩道橋)

#### (2) 門型標識等

門型標識等では、横梁の健全性Ⅲ以上の割合が19%とやや高い傾向にあります。また、支柱の健全性Ⅲ以上の割合が9%となっており、総合的な判定を踏まえ、施設単位の健全性Ⅲの割合は19%となっています。



図 6.3 部材別の健全性評価結果 (門型標識等)

#### (3) 道路情報提供装置

道路情報提供装置については、横梁で健全性Ⅲの構造物が少数ある。このうち衝突による局所的な変形などを除いた1施設が施設単位の健全性Ⅲとなっています。



図 6.4 部材別の健全性評価結果 (道路情報提供装置)

#### (4) シェッド

シェッドは全体で4ヶ所が対象であるが、そのうち3ヶ所の上部工の健全性がⅢとなっており、施設単位においても健全性Ⅲとなっている。



図 6.5 部材別の健全性評価結果 (シェッド)

#### (5) 大型カルバート

大型カルバートは全体で 19 基が対象であるが、ほとんどが局所的な損傷であり、構造物全体への影響が小さいことから、施設単位では健全性 I 又は II と判定している。



図 6.6 部材別の健全性評価結果 (大型カルバート)

#### ≪損傷事例≫

#### ○横断歩道橋



【上部工(主桁):腐食、健全性Ⅲ】



【階段部(蹴上):腐食、健全性Ⅱ】

#### ○門型標識等



【横梁(標識板取付部): 腐食、健全性Ⅲ】



【支柱基礎:腐食、健全性Ⅲ】

#### ○道路情報提供装置



【支柱内部:滯水、健全性Ⅱ】



【横梁取付部:腐食、健全性Ⅱ】

写真 6.1 損傷事例(1)

#### ○シェッド



【横梁:腐食、健全性Ⅲ】



【下部工(山側受台): アルカリ骨材反応の疑いがあるひび割れ、健全性Ⅲ】

#### ○大型カルバート



【本体工(頂版): ひびわれ、健全性Ⅱ】



【翼壁部(ウイング): うき、健全性Ⅲ】

写真 6.2 損傷事例(2)

#### 7. 道路大型構造物長寿命化修繕計画の基本方針

#### 7.1 道路大型構造物長寿命化修繕計画の基本方針

道路大型構造物長寿命化修繕計画の基本方針は次のとおりとします。

- 1) ライフサイクルコスト(LCC) の比較
- 2) 予防保全・時間計画保全への移行
- 3) 新技術の活用、集約化・撤去の検討
- 4) 費用の縮減に関する取組み
- 5) 事業費の平準化

#### 1) ライフサイクルコストの比較

これまで鳥取県では、構造物に大きな変状が確認されてから補修・更新を行う、対症療法の「**事後保全**」 で維持管理を行ってきました。本計画では、まず「**事後保全**」と「**予防保全**」のライフサイクルコストの比 較を行います。

#### 100年後までにかかる事業費 (補修費用+更新費用)を比較 事後保全 予防保全 業 費 $\widehat{\mathsf{L}}$ С Č 40 100 20 80 0 60 経過年数

事業費(ライフサイクルコスト)のイメージ

図 7.1 事後保全と予防保全のライフサイクルコストの概念図

#### 2) 予防保全・時間計画保全への移行

ライフサイクルコストの結果を踏まえ、従来型の「**事後保全**」から事業費縮減が可能な「**予防保全**」へと 移行します。ただし、日常点検や定期点検では機能の低下や故障の予見が難しく、予防保全への移行が困難 な構造物については、「時間計画保全」へと移行します。

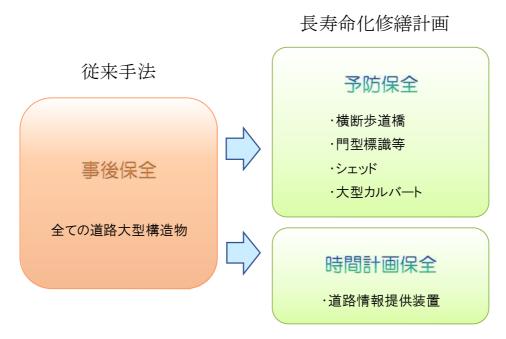


図 7.2 保全手法の転換

#### 「予防保全」とは

「予防保全」は定期点検の結果を踏まえて、損傷が大きくなる前の段階で修繕を行う 手法です。横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートは日常点検や定期点検 に損傷程度、機能の低下が把握できるため、この保全手法を適用します。

#### 「時間計画保全」とは

「時間計画保全」は耐用年数等毎に更新を行い、機能の維持を図る保全手法のことです。日常点検や定期点検では機能の低下や故障の予見が難しく、性能保証の面からも延命化が困難で、耐用年数毎の更新が避けられない施設・設備等に適用されます。

道路情報提供装置の電気通信設備は日常点検では故障など不具合の予見が困難であり、電気通信設備の耐用年数によって施設全体を更新せざるを得ないため、この「時間計画保全」を採用します。

- 3) 新技術の活用、集約化・撤去の検討
- (1)-1 横断歩道橋の新技術等の活用方針

#### 【定期点検・詳細調査】

鳥取県では、交通規制を容易に行うことができる路線の場合は、従来どおり高所作業車を用いた近接目視による点検・調査を基本とします。ただし、交通規制を行うことにより社会的・経済的損失が大きいと判断する場合は新技術の活用を検討します。

新技術の活用についての検討は、「点検支援技術性能カタログ 令和6年4月(国土交通省)」を参考に行いますが、その他近接目視点検を充実・補完・代替する技術などの活用についても検討します。

新技術の活用方針は、以下のとおりとします。

・支柱埋設部の腐食調査には、非破壊で腐食状況を確認することが可能な「鋼板腐食検査器」などの採用を 検討します。



鋼板腐食検査器を使用した調査

#### 【修繕工事】

修繕工事については、コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、国土交通省「新技術情報提供システム (NETIS)」を活用する等、維持管理に関する最新技術の積極的な活用を図ります。

また、NETIS 未登録の技術であっても有効性があると判断した工法や材料については、同様に積極的に活用します。

新技術の活用方針は、以下のとおりとします。

- ・鋼材の塗装塗り替えについては、発錆リスクである赤錆を黒錆へ転換して防食することができ、かつ厚膜塗料による長期耐候性も期待できる『長期耐候性錆転換防食塗装』などの採用を検討します。
- ・腐食により欠損した鋼材断面の補修には、FRPシートを貼り付けることで高い防錆性が期待できる『紫外線 硬化型 FRPシート工』などの採用を検討します。

#### (1)-2 横断歩道橋の集約化・撤去の検討方針

横断歩道橋の集約化・撤去の検討方針は、以下のとおりとします。

- ・老朽化等により現状のままでは継続利用が困難(健全性Ⅲ以上) な横断歩道橋については、今後も同等以上の機能が必要な場合には「修繕」または「架替」を検討します。
- ・大規模な補修が必要となる横断歩道橋については、歩行者利用状況、車両交通量の変化、通学路の指定状況、バリアフリーへの対応等を踏まえて地元住民や学校関係者等と協議を行い、状況に応じて「撤去+平 面横断歩道」への変更を検討します。
- ・集約化・撤去対象の検討を行いましたが、管理する施設は沿線施設が集中する等日常生活に欠かせない路線上に位置しており、迂回する場合、安全性や社会活動等に影響を与えるため集約化・撤去を行うことが困難な状況です。今後、周辺の状況や施設の利用状況に応じて、再度検討を行います。

#### (2)-1 門型標識等の新技術等の活用方針

#### 【定期点検・詳細調査】

鳥取県では、交通規制を容易に行うことができる路線の場合は、従来どおり高所作業車を用いた近接目視による点検・調査を基本とします。ただし、交通規制を行うことにより社会的・経済的損失が大きいと判断する場合は新技術の活用を検討します。

新技術の検討にあたっては、「点検支援技術性能カタログ 令和6年4月(国土交通省)」を参考に検討しますが、その他近接目視点検を充実・補完・代替する技術などの活用についても検討します。

・支柱埋設部の腐食調査には、地表から磁場測定することにより非破壊で埋設部支柱全周の腐食割合が計測できる「鋼製支柱の埋設部腐食検査装置」などの採用を検討します。



埋設部腐食検査装置を使用した調査

#### 【修繕工事】

修繕工事については、コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、国土交通省「新技術情報提供システム (NETIS)」を活用する等、維持管理に関する最新技術の積極的な活用を図ります。

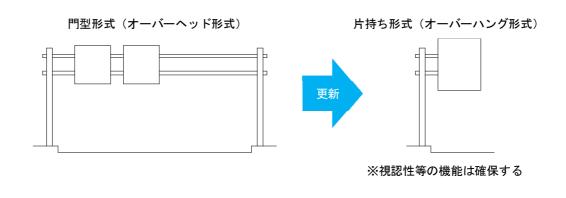
また、NETIS 未登録の技術であっても有効性があると判断した工法や材料については、同様に積極的に活用します。

- ・支柱が腐食により欠損した場合、これまでは取替えることが一般的でしたが、強度と耐腐食性が金属と同等 以上の「FRP シートによる支柱補強工法」などの採用を検討します。
- ・滞水により腐食が進行しやすい支柱地際部は、塗装により防食することが一般的ですが、再劣化することが 多い部位であるため、亜鉛系防食材料を用いた電気防食装置を設置し、防食性能を向上することができる「支 柱地際部防食工」などの採用を検討します。

#### (2)-2 門型標識等の集約化・撤去の検討方針

門型標識等の集約化・撤去の検討方針は、以下のとおりとします。

- ・老朽化等により現状のままでは継続利用が困難(健全性Ⅲ以上)な大型標識については、今後も同等以上の機能が必要な場合は「修繕」または「取替」を検討します。なお、門型標識の取替えについては、維持管理が容易な片持ち形式への変更を検討します。
- ・道路整備状況や周辺環境の変化等により不要と判断した大型標識は「撤去」を検討します。
- ・近接する道路情報板や道路案内標識など、他の公共施設との集約が可能な場合は、「集約」を検討します。
- ・集約化・撤去対象の検討を行いましたが、現状では道路利用者への適切な案内を実施するためには現在の 位置が適切であり、集約化・撤去を行うことが困難な状況です。今後、周辺の状況や施設の利用状況に応 じて、不要と判断した標識は「撤去」、または他の公共施設との集約が可能な場合には「集約」を検討し ます。



#### (3)-1 道路情報提供装置の新技術等の活用方針

#### 【定期点検・詳細調査】

鳥取県では、交通規制を容易に行うことができる路線の場合は、従来どおり高所作業車を用いた近接目視による点検・調査を基本とします。ただし、交通規制を行うことにより社会的・経済的損失が大きいと判断する場合は新技術の活用を検討します。

新技術の検討にあたっては、「点検支援技術性能カタログ 令和6年4月(国土交通省)」を参考に検討しますが、その他近接目視点検を充実・補完・代替する技術などの活用についても検討します。

・支柱埋設部の腐食調査には、地表から磁場測定することにより非破壊で埋設部支柱全周の腐食割合が計測できる「鋼製支柱の埋設部腐食検査装置」などの採用を検討します。



埋設部腐食検査装置を使用した調査

#### 【修繕工事】

修繕工事については、コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、国土交通省「新技術情報提供システム (NETIS)」を活用する等、維持管理に関する最新技術の積極的な活用を図ります。

また、NETIS 未登録の技術であっても有効性があると判断した工法や材料については、同様に積極的に活用します。

- ・支柱が腐食により欠損した場合、これまでは取替えることが一般的でしたが、強度と耐腐食性が金属と同等以上の「FRPシートによる支柱補強工法」などの採用を検討します。
- ・滞水により腐食が進行しやすい支柱地際部は、塗装により防食することが一般的ですが、再劣化すること が多い部位であるため、亜鉛系防食材料を用いた電気防食装置を設置し、防食性能を向上することができ る「支柱地際部防食工」などの採用を検討します。

#### (3)-2 道路情報提供装置の集約化・撤去の検討方針

道路情報提供装置の集約化・撤去の検討方針は、以下のとおりとします。

- ・老朽化等により現状のままでは継続利用が困難(健全性Ⅲ以上)な道路情報提供装置については、今後も同等以上の機能が必要な場合は「修繕」または「取替」を検討します。
- ・道路整備状況や周辺環境の変化等により不要と判断した道路情報提供装置は「撤去」を検討します。
- ・近接する道路情報提供装置との集約が可能な場合は、「集約」を検討します。
- ・集約化・撤去対象の検討を行いましたが、管理する施設は緊急輸送道路等の重要な路線上に位置しており、社会活動等に影響を与えるため集約化・撤去を行うことが困難な状況です。今後、周辺の状況や施設の利用状況に応じて、再度上記のとおり検討を行います。

#### (4)-1 シェッドの新技術等の活用方針

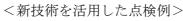
#### 【定期点検・詳細調査】

鳥取県では、交通規制を容易に行うことができる路線の場合は、従来どおり高所作業車を用いた近接目視による点検・調査を基本とします。ただし、交通規制を行うことにより社会的・経済的損失が大きいと判断する場合は、新技術の活用を検討します。また、鋼製部材の板厚調査については、コスト縮減や作業の効率化が可能となる新技術の活用を検討します。

新技術の活用についての検討は、「点検支援技術性能カタログ 令和6年4月(国土交通省)」を参考に行いますが、その他近接目視点検を充実・補完・代替する技術などの活用についても検討します。

新技術の活用方針は、以下のとおりとします。

・鋼部材の腐食調査(板厚調査)には、ケレン不要で錆上からの計測が可能な「鋼板腐食検査器)」などの 採用を検討します。





鋼板腐食検査器を使用した調査

#### 【修繕工事】

修繕工事については、コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、国土交通省「新技術情報提供システム (NETIS)」を活用する等、維持管理に関する最新技術の積極的な活用を図ります。

また、NETIS 未登録の技術であっても有効性があると判断した工法や材料については、同様に積極的に活用します。

新技術の活用方針は、以下のとおりとします。

- ・コンクリート部材のひび割れ補修については、注入器具を用いることなくひび割れ深部まで接着可能な『塗 布型ひび割れ注入工法』などの採用を検討します。
- ・鋼材の塗装塗り替えについては、発錆リスクである赤錆を黒錆へ転換して防食することができ、かつ厚膜塗料による長期耐候性も期待できる『長期耐候性錆転換防食塗装』などの採用を検討します。

#### (4)-2 シェッドの集約化・撤去の検討方針

シェッドの集約化・撤去の検討方針は、以下のとおりとします。

- ・老朽化等により現状のままでは継続利用が困難(健全性Ⅲ以上) なロックシェッド及びスノーシェッドについては、今後も同等以上の機能が必要な場合には「修繕」または「更新」を検討します。
- ・集約化・撤去対象の検討を行いましたが、ロックシェッド及びスノーシェッドは落石や雪崩から道路利用の 安全を確保する施設であり、迂回する場合、安全性や社会活動等に影響を与えるため集約化・撤去を行うこ とが困難な状況です。そのため、基本的には集約化・撤去ではなく長寿命化を図っていく計画としますが、 道路整備状況や周辺環境の変化等により不要と判断した場合は地元住民や利用者と協議を行い、状況に応 じて「道路閉鎖」や「撤去」を検討します。

#### (5)-1 大型カルバートの新技術等の活用方針

#### 【定期点検・詳細調査】

鳥取県では、交通規制を容易に行うことができる路線の場合は、従来どおり高所作業車を用いた近接目視による点検・調査を基本とします。ただし、交通規制を行うことにより社会的・経済的損失が大きいと判断する場合は新技術の活用を検討します。

新技術の活用についての検討は、「点検支援技術性能カタログ 令和6年4月(国土交通省)」を参考に行いますが、その他近接目視点検を充実・補完・代替する技術などの活用についても検討します。

#### 【修繕工事】

修繕工事については、コスト縮減や維持管理の効率化を図るため、国土交通省「新技術情報提供システム (NETIS)」を活用する等、維持管理に関する最新技術の積極的な活用を図ります。

また、NETIS 未登録の技術であっても有効性があると判断した工法や材料については、同様に積極的に活用します。

新技術の活用方針は、以下のとおりとします。

- ・長期の交通規制が困難なコンクリート部材のひび割れ補修については、注入器具を用いることなくひび割れ 深部まで接着可能な『塗布型ひび割れ注入工法』などの採用を検討します。
- ・コンクリート片の剥落防止対策として、コンクリート表面にポリウレタン樹脂を塗るだけで優れたはく落防 止性能を発揮し、従来のような繊維シートの接着が不要で工期短縮が図れるなどの採用を検討します。

#### (5)-2 大型カルバートの集約化・撤去の検討方針

大型カルバートの集約化・撤去の検討方針は、以下のとおりとします。

- ・老朽化等により現状のままでは継続利用が困難(健全性Ⅲ以上)な大型カルバートについては、今後も同等 以上の機能が必要な場合には「修繕」または「更新」を検討します。
- ・集約化・撤去対象の検討を行いましたが、大型カルバートは道路を跨ぐ、交通の安全や輸送時間短縮に重要な施設であることや、緊急輸送道路に位置する施設もあり、迂回する場合に安全性や社会活動等に影響を与えるため集約化・撤去を行うことが困難な状況です。そのため、基本的には集約化・撤去ではなく長寿命化を図っていく計画としますが、道路整備状況や周辺環境の変化等により交差道路が不要となる場合は、地元住民や利用者と協議を行い、状況に応じて「通行止め」や「撤去」を検討します。

#### 4) 費用の縮減に関する取組み

#### (1) 横断歩道橋の費用の縮減に関する取組み

横断歩道橋の費用の縮減に関する取組みは、以下のとおりとします。

- ・従来の事後保全型から予防保全型の管理へ転換し、今後 100 年間で約7億円のコストの縮減を目指します。
- ・今後5年間で、定期点検・詳細調査においては9橋程度、修繕工事においては2橋程度について新技術・新材料等を活用し、合計3.7百万円のコスト縮減を目指します。

#### (2) 門型標識等の費用の縮減に関する取組み

門型標識等の費用の縮減に関する取組みは、以下のとおりとします。

- ・従来の事後保全型から予防保全型の管理へ転換し、今後 100 年間で約 3.2 億円のコストの縮減を目指します。
- ・今後5年間で、定期点検・詳細調査においては15基程度、修繕工事においては4基程度について新技術・新材料等を活用し、合計0.7百万円のコスト縮減を目指します。

#### (3) シェッド・大型カルバートの費用の縮減に関する取組み

シェッド・大型カルバートの費用の縮減に関する取組みは、以下のとおりとします。

- ・従来の事後保全型から予防保全型の管理へ転換し、今後 100 年間で約 22 億円のコストの縮減を目指します。
- ・今後5年間で、定期点検・詳細調査においては1基、修繕工事においては2基程度について新技術・新 材料等を活用し、合計17百万円のコスト縮減を目指します。

大型カルバートの修繕工事においては、前回定期点検の結果、早期に修繕が必要な箇所はありませんが、今後修繕を行う場合には、国土交通省「新技術情報提供システム (NETIS)」等を参考とし、積極的な新工法・新材料の活用によってコスト縮減を図ります。

#### 5) 事業費の平準化

限られた財源の中では、対象構造物すべてを一度に修繕することが困難な状況であることから、単年度に 事業費が集中しないよう、対象構造物の中で優先順位をつけ、修繕年度について、予防保全は後ろへ、時間 計画保全は前へ調整することで、年度別事業費の平準化を図ります。

#### 後ろ倒しによる平準化

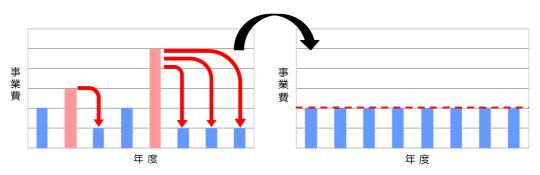


図 7.3 事業費平準化の概念図 (予防保全)

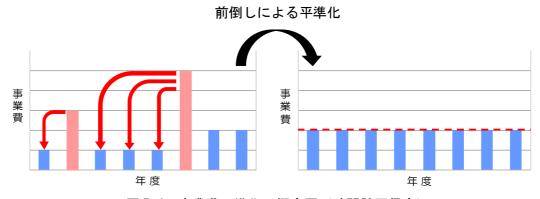


図7.4 事業費平準化の概念図 (時間計画保全)

#### (4)計画期間

計画期間は令和7年度~令和11年度までの5年間とします。

#### 7.2 道路大型構造物長寿命化修繕計画の流れ

道路大型構造物長寿命化修繕計画の流れを図7.5に示します。

定期点検の結果や既往の研究成果を基に、管理水準、補修実施時期を設定します。

次に、健全度に対応した標準的な補修工法、ライフサイクルコストの縮減を検討した上で、必要な費用等の年度別事業費を算出します。

次に、構造物の補修時期が重なり事業費が集中した場合に、優先して修繕すべき構造物を選定するため、 優先順位の設定を行います。

最後に、年度ごとの予算規模を想定し、補修時期を調整した上で平準化を行います。

この長寿命化修繕計画に基づき各構造物の補修設計・補修工事を実施するとともに、今後の定期点検結果 や補修工事の結果を整理・記録し、次回計画時の資料とします。

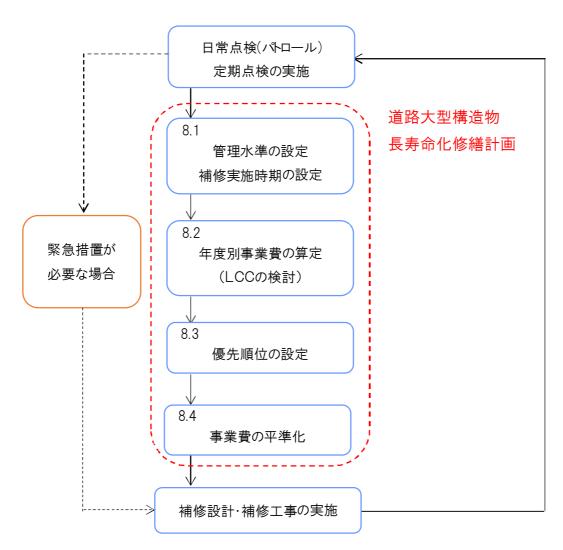


図 7.5 道路大型構造物長寿命化修繕計画の流れ

#### 8. 道路大型構造物長寿命化修繕計画の詳細

#### 8.1 管理水準の設定・補修実施時期の設定

これまでは、健全性Ⅲあるいは健全性Ⅳになってから補修を行う「**事後保全**」でしたが、今後は健全性 Ⅱの段階で対策を行う「**予防保全**」または「**時間計画保全**」としていきます。それぞれの保全手法の管理 水準のイメージをグラフ化すると**表 8.1** のようになります。

劣化程度の推定、補修実施時期、更新時期の設定は、点検結果、経過年数より作成した劣化予測式から 導くのが理想です。しかし、今回の場合、対象構造物のデータ数が少なく、劣化予測式の精度が低く不適 であることから、既往の研究成果により、補修時期や更新時期を設定しました。表 8.2 に設定した更新時 期を示します。

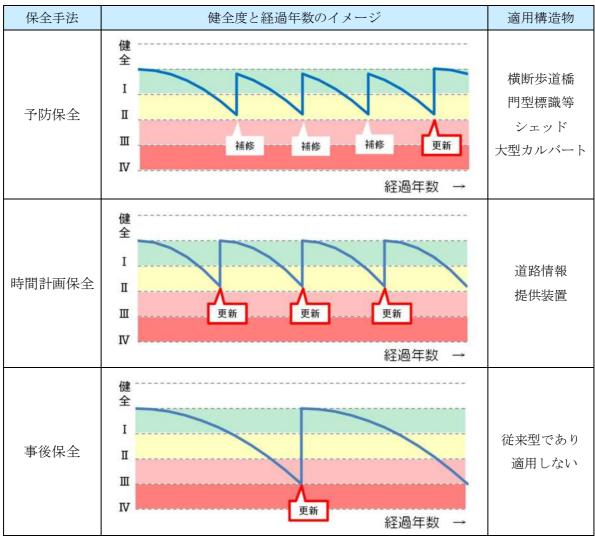


表 8.1 保全手法ごとの健全度と経過年数のイメージ

| 公。2      |        |              |              |  |
|----------|--------|--------------|--------------|--|
|          | 保全手法   | 更新時期         |              |  |
|          |        | 長寿命化目標       | 無対策の場合(事後保全) |  |
| 横断歩道橋    | 予防保全   | 建設後 80 年*1   | 建設後 60 年**2  |  |
| 門型標識等    | 予防保全   | 建設後 50 年**3  | 建設後 40 年**4  |  |
| 道路情報提供装置 | 時間計画保全 | 建設後 22 年**5  | _            |  |
| シェッド     | 予防保全   | 建設後 100 年**6 | 建設後 60 年**7  |  |
| 大型カルバート  | 予防保全   | 建設後 100 年**8 | 建設後 60 年*9   |  |

表 8.2 保全手法と目標の目安

- ※1:鋼道路橋の平均寿命は最大 100 年と言われています(道路橋の寿命推計に関する調査研究、国総研資料第 223 号、平成 16 年 12 月)。道路橋に比べて横断歩道橋は、使用鋼材の板厚が薄いことを考慮し80 年としました。
- ※2:新設塗装(C-5系)の塗装耐用寿命45年に鋼材の腐食減厚年数15年を加えて60年としました。
- ※3: 道路標識維持管理マニュアル(案) (H20.9 (社)全国道路標識・標示業協会)の資料より「都市・工業地帯」における耐用年数34~53年より、50年としました。
- ※4:メッキ層の耐用年数25年と鋼材の腐食減厚年数15年を合計して40年としました。
- ※5:電気通信施設維持管理計画作成の手引き(案)、平成25年6月、国土交通省より「延命化後の期待寿命」22年を用いました。
- ※6:対象シェッドの主構造は鋼構造なので鋼道路橋と同等と考え、「道路橋の寿命推計に関する調査研究、国総研資料第223号、平成16年12月」の鋼道路橋平均寿命の最大値100年を用いました。
- ※7:新設塗装(C-5系)の塗装耐用寿命45年に鋼材の腐食減厚年数15年を加えて60年としました。
- ※8: 大型カルバートはコンクリート構造なので道路橋と同等と考え「道路橋の寿命推計に関する調査研究、国総研資料第223号、平成16年12月」のコンクリート道路橋平均寿命の最大値100年を用いました。
- ※9:「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和四十年大蔵省令第十五号)令和2年財務省令第二十 六号による改正 財務省」より、コンクリート橋の耐用年数60年としました。

#### 8.2 年度別事業費の算定

#### (1) 横断歩道橋の年度別事業費算出

横断歩道橋は予防保全の場合、建設後80年間利用可能です。これに対して、事後保全の場合は、建設後60年で更新が必要になります。

今後 100 年間において、鳥取県が管理する横断歩道橋 19 橋について両方の保全手法による補修費用を比較しました(図 8.1)。結果として 100 年間では、予防保全(約 44 億円)の方が事後保全(約 51 億円)に比べて、約 7 億円(約 14%)の事業費を縮減することができるため、「予防保全」手法を採用します。





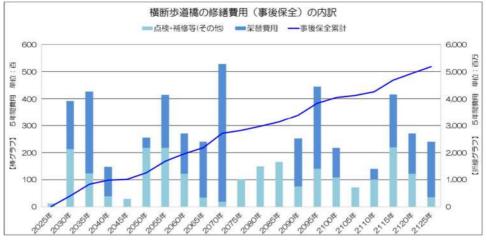


図8.1 予防保全と事後保全の違いによる事業費比較(横断歩道橋)

#### (2) 門型標識等の年度別事業費算出

門型標識等は予防保全の場合、建設後 50 年間利用可能です。これに対して、事後保全の場合は、建設後 40 年で更新が必要になります。

今後 100 年間において、鳥取県が管理する門型標識等 32 基について両方の保全手法による補修費用を比較しました(図 8.2)。結果として 100 年間では、予防保全(約 9.3 億円)の方が事後保全(約 12.5 億円)に比べて約 3.2 億円(約 25%)の事業費を縮減することができるため、「予防保全」手法を採用します。

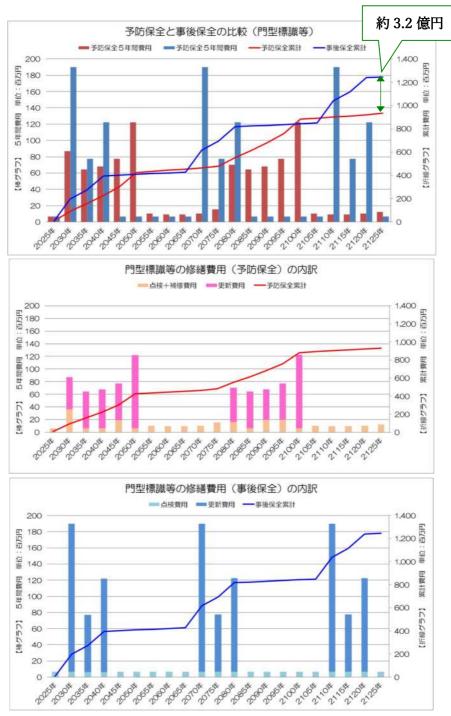


図8.2 予防保全と事後保全の違いによる事業費比較(門型標識等)

#### (3) 道路情報提供装置の年度別事業費算出

道路情報提供装置については、電気設備であるため点検で故障等の予見が困難です。したがって、部品交換など<u>部品単位の「時間計画保全」による補修を行い</u>、さらに機器全般の保守部品調達が困難となる建設後22年目には機器全体の「時間計画保全」による更新を行います。

今後 100 年間において、鳥取県が管理する道路情報提供装置 11 基について事業費を算出しました(図 8.3)。 結果として 100 年間では、約 33 億円の事業費が必要です。



図 8.3 時間計画保全による事業費(道路情報提供装置)

#### (4) シェッドの年度別事業費算出

シェッドは予防保全の場合、建設後100年間利用可能です。これに対して、事後保全の場合は、建設後60年で更新が必要になります。

今後 100 年間において、鳥取県が管理するシェッド 4 ヵ所について両方の保全手法による事業費を比較しました(図 8.4)。結果として 100 年間では、予防保全(約 30 億円)の方が事後保全(約 36 億円)に比べて、約 6 億円(約 17%)の事業費を縮減することができるため、「予防保全」手法を採用します。

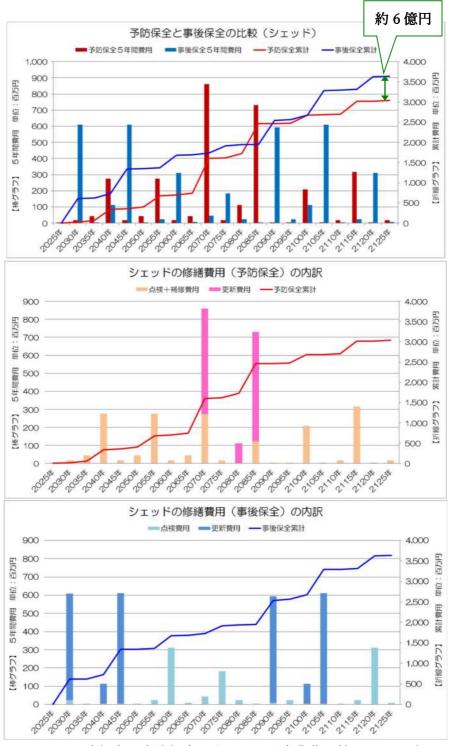


図8.4 予防保全と事後保全の違いによる事業費比較(シェッド)

#### (5) 大型カルバートの年度別事業費算出

大型カルバートは予防保全の場合、建設後 100 年間利用可能です。これに対して、事後保全の場合は、建設後 60 年で更新が必要になります。

今後 100 年間において、鳥取県が管理する大型カルバート 21 基について両方の保全手法による事業費を 比較しました(図 8.5)。結果として 100 年間では、予防保全(約 48 億円)の方が事後保全(約 64 億円)に 比べて、約 16 億円(約 25%)の事業費を縮減することができるため、「予防保全」手法を採用します。







図8.5 予防保全と事後保全の違いによる事業費比較(大型カルバート)

#### 8.3 優先順位の設定

#### (1) 横断歩道橋の優先順位の設定

横断歩道橋の補修における優先順位は、表 8.3 の考えに沿って決定します。

|      | 20.0 18th 2 75 118 12 1 - 00 17 18 25 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 |                     |                        |               |  |  |  |
|------|--|---------------------|------------------------|---------------|--|--|--|
|      | 第1仕分け<br>(健全性)   | 第2仕分け<br>(緊急輸送路を跨ぐ) | 第3仕分け<br>(道路交通量の多さ)    | 第4仕分け<br>(橋長) |  |  |  |
| 高    | ①健全性IV   |                     | ①道路交通量<br>10,000 台/日以上 |               |  |  |  |
| 優先   | ②健全性Ⅲ  | ①緊急輸送路              | <b>▼</b><br>②道路交通量     | 橋長が長いもの       |  |  |  |
| 先順位- | ③健全性Ⅱ  | ②その他の路線             | 4,000~10,000 台/日<br>▼  | を優先的に整備       |  |  |  |
| ↓低   | ●<br>④健全性 I  |                     | ③道路交通量<br>4,000 台/日未満  |               |  |  |  |

表 8.3 横断歩道橋の補修における優先順位の考え方

○第1 仕分け: 健全性が低いものを最優先に補修します。

○第2 仕分け:緊急輸送道路を優先的に補修します。

○第3 仕分け:道路交通量が多い(利用者が多い)路線を優先的に補修します。

○第4 仕分け:同一の優先順位グループの中で橋長が長いものを優先的に補修します。

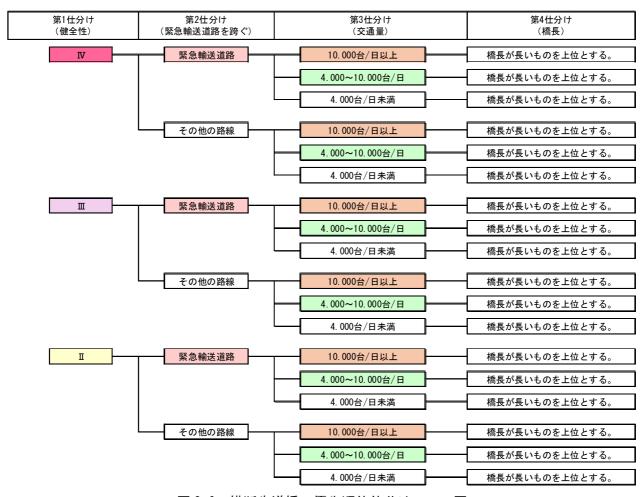


図8.6 横断歩道橋の優先順位仕分けフロー図

#### (2) 門型標識等の優先順位の設定

門型標識等の補修における優先順位は、表8.4の考えに沿って決定します。

|          | 第1仕分け<br>(健全性)                                       | 第2仕分け<br>(緊急輸送路)       | 第3仕分け<br>(道路交通量の多さ)   | 第4仕分け<br>(道路幅員)          |
|----------|--|------------------------|---|--------------------------|
| 高←優先順位→低 | ①健全性IV<br>◆<br>②健全性II<br>◆<br>③健全性 II<br>◆<br>④健全性 I | ①緊急輸送路<br>▼<br>②その他の路線 | ①道路交通量<br>10,000 台/日以上<br>◆<br>②道路交通量<br>4,000~10,000 台/日<br>◆<br>③道路交通量<br>4,000 台/日未満 | 道路幅員が広い<br>ものを優先的に<br>整備 |

表 8.4 門型標識等の補修における優先順位の考え方

- ○第1 仕分け:健全性が低いものを最優先に補修します。
- ○第2 仕分け:緊急輸送道路を優先的に補修します。
- ○第3 仕分け:道路交通量が多い(利用者が多い)路線を優先的に補修します。
- ○第4 仕分け:同一の優先順位グループの中で道路幅員が広い(門型標識の支柱が長い)ものを優先的に 補修します。

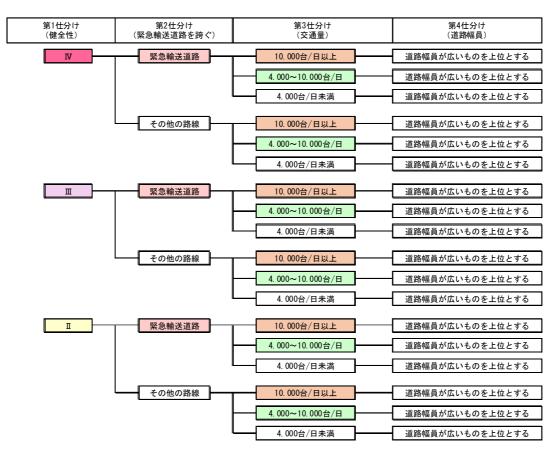


図 8.7 門型標識等の優先順位仕分けフロー図

#### (3) 道路情報提供装置の優先順位の設定

道路情報提供装置の補修における優先順位は、表8.5の考えに沿って決定します。

|      |                |                  | •                |                         |                  |
|------|----------------|------------------|------------------|-------------------------|------------------|
|      | 第1仕分け<br>(健全性) | 第2仕分け<br>(情報の種類) | 第3仕分け<br>(緊急輸送路) | 第4仕分け<br>(道路交通量の多<br>さ) | 第5仕分け<br>(道路幅員)  |
| 高    | ①健全性Ⅳ          |                  |                  | ①道路交通量<br>10,000 台/日以上  |                  |
| 優先順位 | ②健全性Ⅲ          | ①トンネル<br>情報板     | ①緊急輸送路  ▼        | <b>▼</b><br>②道路交通量      | 道路幅員が広<br>いものを優先 |
| 順位   | ③健全性Ⅱ<br>■     | ◆<br>②道路情報板      | ②その他の<br>路線      | 4,000~10,000 台/日<br>◆   | 的に整備             |
| 低    | ④健全性 I         |                  |                  | ③道路交通量<br>4,000 台/日未満   |                  |

表 8.5 道路情報提供装置の補修における優先順位の考え方

- ○第1 仕分け: 健全性が低いものを最優先に補修します。
- ○第2 仕分け:トンネル情報板は緊急性が高いので優先的に補修します。
- ○第3 仕分け:緊急輸送道路を優先的に補修します。
- ○第4 仕分け:道路交通量が多い(利用者が多い)路線を優先的に補修します。
- ○第5 仕分け:同一の優先順位グループの中で道路幅員が広い(施設延長が長い)ものを優先的に補修します。

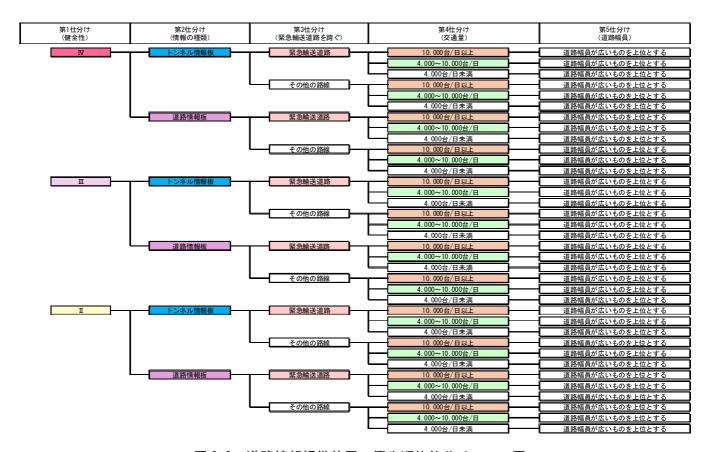


図 8.8 道路情報提供装置の優先順位仕分けフロー図

#### (4)シェッドの優先順位の設定

シェッドの補修における優先順位は、表8.6の考えに沿って決定します。

|      | 第1仕分け<br>(健全性) | 第2仕分け<br>(緊急輸送路)   | 第3仕分け<br>(道路交通量の多<br>さ) | 第4仕分け<br>(延長)      |
|------|----------------|--------------------|-------------------------|--------------------|
| 高↑   | ①健全性IV         |                    | ①道路交通量<br>10,000 台/日以上  |                    |
| 優先順位 | ②健全性Ⅲ          | ①緊急輸送路<br><b>基</b> | <b>◆</b><br>②道路交通量      | シェッド本体の<br>延長が長いもの |
| 順    | ③健全性Ⅱ          | ②その他の路線            | 4,000~10,000 台/日<br>◆   | を優先的に整備            |
| ↓低   | ④健全性 I         |                    | ③道路交通量<br>4,000 台/日未満   |                    |

表 8.6 シェッドの補修における優先順位の考え方

○第1 仕分け: 健全性が低いものを最優先に補修します。

○第2 仕分け:緊急輸送道路を優先的に補修します。

○第3 仕分け:道路交通量が多い(利用者が多い)路線を優先的に補修します。

○第4 仕分け:同一の優先順位グループの中でシェッド本体の延長が長いものを優先的に補修します。

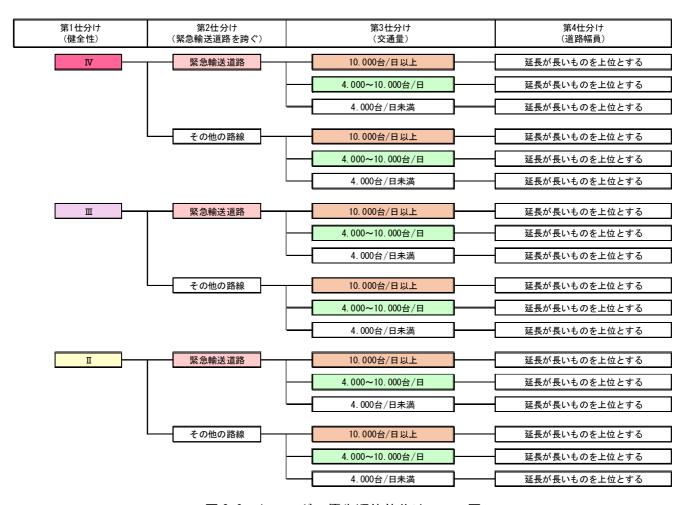


図8.9 シェッドの優先順位仕分けフロ一図

#### (5) 大型カルバートの優先順位の設定

大型カルバートの補修における優先順位は、表8.7の考えに沿って決定します。

|          | 第1仕分け<br>(健全性)                                 | 第2仕分け<br>(横断する施設)            | 第3仕分け<br>(緊急輸送路)           | 第4仕分け<br>(道路交通量の多<br>さ)   | 第5仕分け<br>(延長)        |
|----------|--|------------------------------|----------------------------|---|----------------------|
| 高←優先順位→低 | ①健全性IV<br>②健全性III<br>→<br>③健全性II<br>→<br>④健全性I | ①JR・直轄国道<br><b>◆</b><br>②その他 | ①緊急輸送路<br>◆<br>②その他の<br>路線 | ①道路交通量<br>10,000 台/日以上<br>▼<br>②道路交通量<br>4,000~10,000 台/日<br>▼<br>③道路交通量<br>4,000 台/日未満 | 施設延長が長いものを優先<br>的に整備 |

表 8.7 大型カルバートの補修における優先順位の考え方

○第1 仕分け: 健全性が低いものを最優先に補修します。

○第2 仕分け: JR・直轄国道を横断する構造物は緊急性が高いので優先的に補修します。

○第3 仕分け:緊急輸送道路を優先的に補修します。

○第4 仕分け:道路交通量が多い(利用者が多い)路線を優先的に補修します。

○第5 仕分け:同一の優先順位グループの中で施設延長が長いものを優先的に補修します。

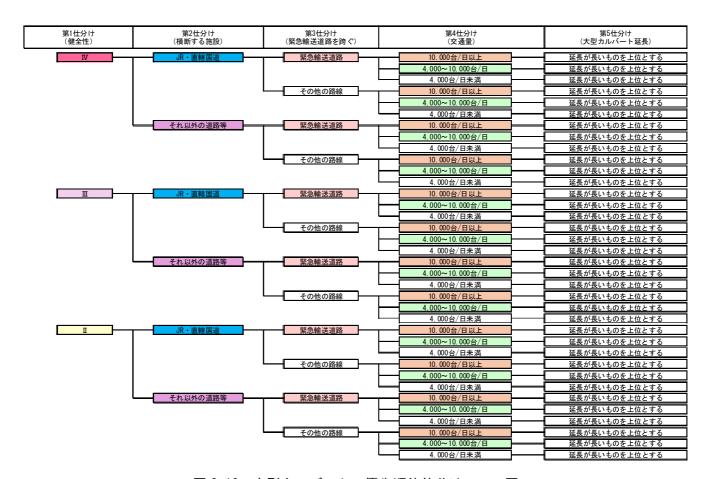


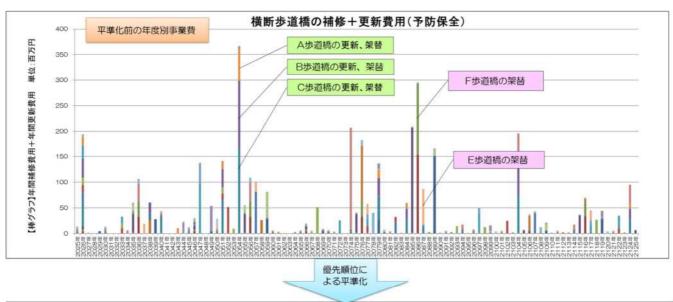
図 8.10 大型カルバートの優先順位仕分けフロー図

#### 8.4 事業費の平準化

対象となる道路大型構造物に対して予防保全で補修した場合の年度別事業費を集計すると、年度ごとに大きな差が出ることとなりました。優先順位を用いて補修工事の実施年度をずらすことや、シェッドなど1施設の規模が大きいものは分割することによって、年度別事業費を平準化することができます(図 8.9~図 8.13)。

横断歩道橋・門型標識等・シェッド・大型カルバートの平準化は、健全性IIの補修時期が到来した構造物に対して、仮に5年間先送りしても健全性IV(緊急措置段階)になることはないと想定して、5年間の事業費が平準化されるように調整します。

一方、道路情報提供装置は故障の予見が難しく、耐用年数ごとの交換を行うことが必要です。耐用年数を過ぎると、健全性 I もしくは II の状態を確保できる保証がないため、道路情報提供装置については、更新を前倒しすることによって 5 年間の事業費が平準化されるように調整します。



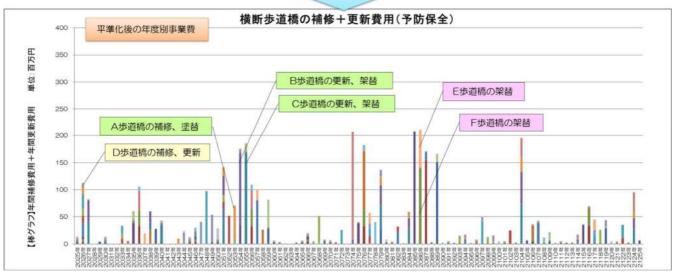


図 8.11 横断歩道橋の年度別事業費(平準化前後)

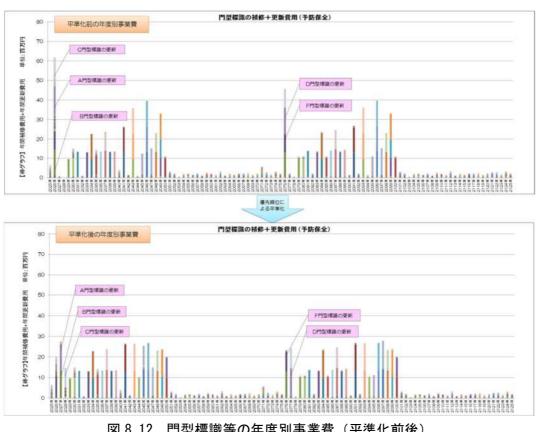
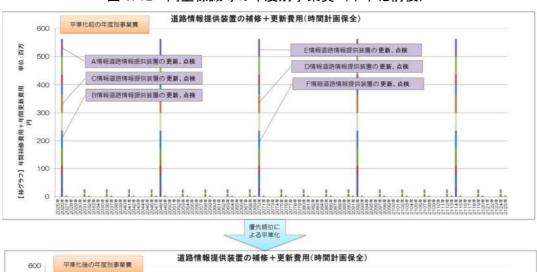


図 8.12 門型標識等の年度別事業費(平準化前後)



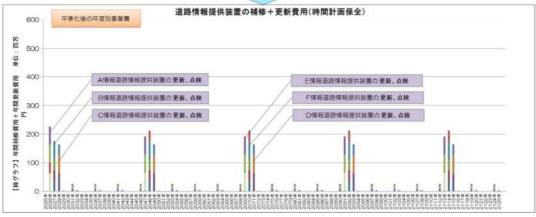


図8.13 道路情報提供装置の年度別事業費(平準化前後)

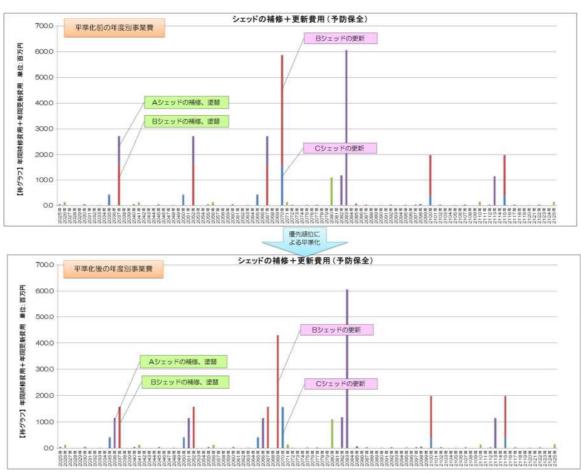


図 8.14 シェッドの年度別事業費(平準化前後)

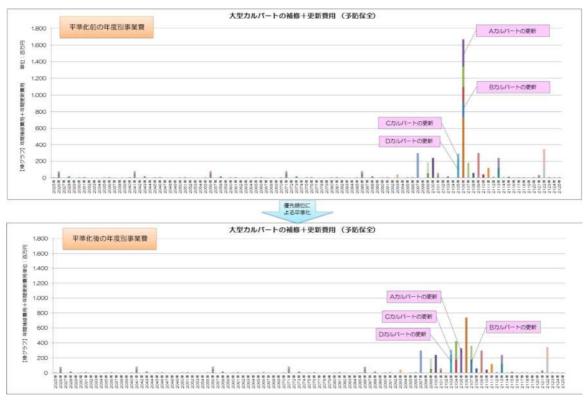


図8.15 大型カルバートの年度別事業費(平準化前後)

#### 8.5 今後100年間の維持管理のために必要な事業費

今後 100 年間の維持管理のために必要な事業費を図 8.16 に示します。

今後 100 年間は予防保全による維持管理を基本方針としていますが、今後 100 年間に必要な維持管理事業費には時間計画保全の道路情報提供装置の更新費も含まれており、補修費に比べて更新費が高くなっています。

また、2070 年以降は、多くの横断歩道橋の更新時期が到来すること、シェッド・大型カルバートについて も更新時期を迎えることから、更新費が多くかかる時期があります。



図 8.16 今後 100 年間に必要な維持管理事業費

### 9. 道路大型構造物の維持管理フロー

道路大型構造物の長寿命化修繕計画に基づく維持管理フローは、**図 9.1** のように表せます。鳥取県ではこのフローにしたがって維持管理を実施します。

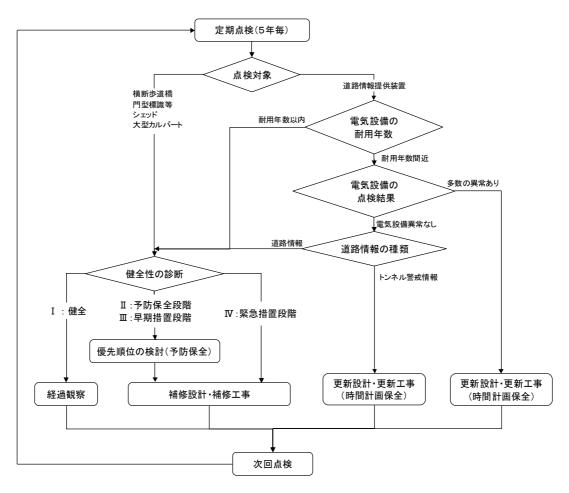


図 9.1 道路大型構造物の維持管理フロー図

### 10. おわりに

鳥取県では、「本計画」ならびに「道路トンネル長寿命化修繕計画(令和5年3月)」、及び「道路橋梁 長寿命化修繕計画(第3回改訂版)令和5年3月」などと合わせて長寿命化修繕計画を実行することによ り、メンテナンスサイクルを実現し、安心・安全な生活の確保に努めてまいります。

同時に維持管理費や補修・更新等に係る費用の縮減と平準化を行い、計画的かつ適切な道路施設の維持 管理を実施していきます。

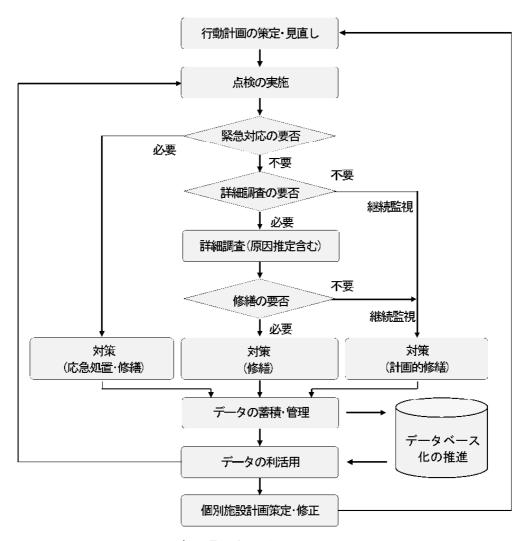


図 10.1 鳥取県におけるメンテナンスサイクル

模断步道橋個別施設計画一覧表

| TOCKNI SP AS   | 21H IS / | 7985 EXAL          | 則一克表                  |   |   |                  |        |  |       |  |        |              |             |               | _                          |                 |                      |               |            |            |               |                   |        |       |             |                           |                |         |       |                |       |                           |          |     |   |  |                               |         | _        | _  | _                               | -                   |
|----------------|----------|--------------------|-----------------------|---|---|------------------|--------|--|-------|--|--------|--------------|-------------|---------------|----------------------------|-----------------|----------------------|---------------|------------|------------|---------------|-------------------|--------|-------|-------------|---------------------------|----------------|---------|-------|----------------|-------|---------------------------|----------|-----|---|--|-------------------------------|---------|----------|--|---------------------------------|---------------------|
| 888            | _        |                    |                       | ĦR  |   |                  |        |  |       |  |        |              |             |               |                            |                 |                      |               |            |            |               |                   |        | 4610  |             |                           |                |         |       |                |       |                           |          |     | 481                                     | B A RX 9-8 MH B  |                               | 6616    |          | 7  |                                 | _                   |
| ex             | 297      |                    | 167 S                 | 25 10   |   | ***              |        |  | 10    | i e  | Ь.     | 行政器は         | £0.00       |               | 経媒(キームシアリ                  |                 |                      |               |            |            |               |                   |        | -610  |             |                           | _              | Late    |       | 7日ン長度          | 28-10 | -                         | AN 531   | 卸下位 |   |  |                               | 3616    | _        | 10.200                                   | 10 002 5                        |                     |
| 2 08 0         |          | P 255 6            | 09/6                  | лис   | 89.611  | (mm) ki          | (#(in) | (m.) (K.()   | 1488  | T C# 80 5  | 8 50 K | 10X 07 11 18 | Hg          | es o          | f(XH)                      | 気を相差 大田<br>走力 年 | 20 A FINA<br>18 (88) | 党联年月          | 登城市        | 使 NK R (rd | IT DIRECT THE | <b>開度 N C M S</b> | PAR X  | m m m | 101 (株実施 II | 東京 物体   物族  <br>  井田   村北 | 等の<br>区分<br>主称 | 10 E    | n son | 7日ン長校<br>株台 株田 |       |                           |          |     | er ona sign                             | NR.  | 直接表別別様式ファイルを                  | N 80 80 | 60 KT    | AD BEIDTS                                | 为 为 的 为 为 为 为 为 为 为 为 为 为 为 为 和 | 用料文文 間内<br>分        |
|                |          |                    |                       |   | 横道 (明 事業者<br>一 数 間を治 (東文 間)<br>一 数 間を治 (東文 間の)<br>一 数 間を治 (東文 間の)<br>一 数 目 がま<br>一 本 町 が走 |                  |        | 一頁 德國 即接 祖<br>一面<br>一都 德的 由<br>一道 即心 祖<br>一家 包收<br>一本 如町 村 |       |  |        |              |             |               | -2.100<br>-7.100<br>-7.100 | 一次 大変 ・無        |                      |               |            |            |               |                   |        |       |             | 1                         |                | 1 4 4 4 |       | 1 1            | 1 0 0 | :<br>::<br>::<br>::<br>:: |          |     | 1 |  |                               |         | R.S      | ulle xruste                              | - 7                             | :<br>::<br>::<br>:: |
| 1-4,311900001  | *        | <b>建筑的</b> (1)     | (76.44524.749.249.2)  | <b>自</b> 电积 重治 为 ¥                            | 환경위우경   | 2006/8           | 934    | # # # # # # # # # # # # # # # # # # #                      | 4.0.0 | AR 6 AR 20 AR 20 H   | 0.00   | 0.00         | 39, 31, 0,  | 98" 12" 67"   | m. LTM                     | = *             | * m.                 | 200 ME 3      | 0-1        | 1083 el    | 7 %           | 6 65 55 -67.5     | 29224  |       | R 2 9.2     |                           |                | 1 1     |       |                |       |                           | =        | 1   |   | 模断を通数の主要機能においては取り開催は見られない。<br>各部材の開催においては、予防保全の報点から他置を調ずること<br>が望ましい。  | 部 世外里 出方 W. 料里 株田分 街橋 ×1××    |         | 0 04     | 86 4.                                    | 1                               |                     |
| 2-4,120200001  |          | <b>电影电影</b>        | (0.000) (0.000)       | <b>直接 重然 方 線</b>                              | 都进利导进   | 2004 Nr 128      | ***    | 2 都高市県   |       | AT 6 AT 60 | 0.00   | 0.00         | 39" 39" 39" | 86' 12' 10'   | m. 上下線                     | -*              | * ж.                 | 30 M N 13     | M 0-1      | 1243 el    | +%            | to act            | 29224  |       | R 2 9.2     |                           |                | 1 1     |       |                |       |                           | =        | 1   |   | 機能を選絡の主要制作においては特と誘復は見られない。<br>各部材の機関においては、予防存金の報点から修置を進ずること<br>が望ましい。  | 自然性的方式 医电极神经遗传 2144           | 0       | 84       | 86 4.1                                   |                                 |                     |
| 214,133900001  |          | Ace the p and      | CHPASSION (SERVICE    | <b>直</b> 电积 重治 为 被                            | <b>数温和导送</b>  | 2004/8           | 918    | * 65.578   | 4.0.0 | AT 6 AT 6 AT 6 A   | 0.00   | 0.00         | 39, 30, 31, | 86, 13, 18,   | 無し 上り線                     | -*              | ч ж.                 | 200761        | 0-1        | 1100 el    | +16           | anhvau            | 29824  |       | R2 9.2      |                           |                |         |       |                |       |                           | - 1      |     |   | 推断を選絡の主要制作においては特と損傷は見られない。<br>各部計の損傷においては、予防保全の組合から修言を選ずること<br>が望ましい。  | RENES THAN SHOULD             | 0       | Ga4      | BB 3.1                                   |                                 |                     |
| 4-4,120800004  | 3        | ·在在 4 4 4 5 4 4    | 19/2012/08/2012       | <b>新</b> ···································· | B-RRP-R   | mosts s.H        | 168    | # # # # # # # # # # # # # # # # # # #                      | 4.0.0 | ARRADONAN  | 0.00   | 0.00         | 38' 38' 6'  | 124" 12' 4"   | m. 上下級                     | -*              | * ×                  | 200887        | 0-1        | 1330#l     | 10/6          | ANGL              | 29824  |       | R 2 9.2     |                           |                | 1 1     |       | 1 1            |       |                           | - 1      | 1   |   | 接触を透明の主要単行においては除る接着は見られない。<br>を部形の機能においては、予算等金の組合から指置を選ぎること<br>が至ました。  | 医 遊牧里 苦刀 被, 行者 開助炉 遊問 4 144   | 0       | 91       | . S. |                                 |                     |
| 5-4,311800001  | æ        | -x ton p (())      | 0.8012892374073612    | · 在 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·       | B-RRP-R   | 1976/8           | 162    | # # # # # # # # # # # # # # # # # # #                      | 4.0.0 | ARRADONAN  | 0.00   | 0.00         | 38' 36' 15  | 134" 12" 8"   | m. 上下級                     | -*              | * ×                  | 20008 3       | 4-1        | 1832 el    | 4.9           | 0-102も労債機         | 3319   |       | R3 .1 . 26  |                           |                |         |       |                | 1     |                           | - 1      |     |   | 接数を選携を保において、生物の産業、機能の損傷が見られる。<br>業部形の産業の活め、コンクリートの機構等も見られる方の、機<br>素会体として酵母を行うことが開業した。  | A SEPARATE A SAN PAR - 1      | 0       | ,        | 38 43.1                                  |                                 |                     |
| 6-4,4331700001 |          | 1. 保 新少 皮肤         | 044.434,78,3460       | 底 进队 野党 中級                                    | 받곤하루곤   | 1996/8           | 480    | 10 都进府県  |       | ARRADONAN  | 0.00   | 0.00         | 38' 31' 7   | 96" 10" 30"   | mに 上下線                     | N.              | ч н.                 | 1004/80)      | 2.1        | sooni      | 28            | AX 数 数 数 数        | H2H1 C | П     | R2 1 . 25   |                           |                |         |       |                |       |                           | - 1      | 1 1 |   | 情報 多 週間 本 保に 加いて、 生物 や高 強す の 高 乳の 通 行 が 見られ<br>も、 会 ての 関 都 材 において 南頂 が 見られ ることから、 精 固金 佐 と<br>して 通 のかに 高 真 別職 を 作うことが 別ま しい、また、 地 内間 至 も<br>あ ャ、 南水 の 参り みめに 対する 色質 生 も 素 を りある。   | 医 遊水野 苦中 被,端山 探助步 道情 + 1++    |         | T        |  |                                 | 100まで 修繕予定く         |
| 7-4,4330700001 |          | 1上規則多連絡            | (344.8828,509,249.2)  | 系 在 R X 分 R 和 N                               | 환경위우경   | 1977 (6 108)     | 484    | : BERR   | 40.0  | AR 6 AR 68 AR H  | 0.00   | 0.00         | 39" 28" 10" | 86" 16" 33"   | m. 278                     | -#              | ч н.                 | 1000000       |            | 224        | 28            | RB 9.89 25        | 11994  | П     | R 2 9.3     |                           |                |         | -     |                | -     | - =                       | -        | 1 1 |   | BER DER HUN LIFE, SEI HEI BING DE AUST HEI BYR II. DYN HEI BER ST. SIZ NI.<br>BIN JU. DAR DE HAT DE BER DE VAL. SIZ, DER SON DE LIFE HEI BER DE<br>SIZ NIEGE LIF   | RECENTRAL SEPTEMBRE           | 0       | Gel<br>3 | 部 23.1                                   |                                 |                     |
| 1-4,333200003  | -        | 10 C M P C M       | 05/3828/505/2050      | <b>展表170</b> 等                                | 総国道(祖文区開刊)  | 10.72 Nr. 3,8)   | 421    | 13 84878   | 0.00  | 100 N AN BAN B AN B AN B AN B AN B AN B A  | 0.00   | A SUA PI     | 38' 28' 8'  | 80' 81' 27' 6 | 1-027 上下級                  | - x             | ч ж.                 | 201367        | N-E        | 30.34      | m/s           | M.                | 12628  |       | R2 9.7      |                           |                |         | -     | 1 1            |       | - =                       | -        |     |   | 機能を関係の主要解析においては熱と誘発は含られない。<br>を部成の機能においては、予数機会の概点から搭置を選すること<br>が選手しい。  | 製造13号。日 機能が多連性 x l x x        | 0       | Gr) 9    | 365<br>87 23<br>88                       |                                 |                     |
| 9-4,320300001  |          | LE SE SER BER      | (8) 493 (5-49) 59 (0) | <b>展表170</b> 等                                | 一般国道(指定区間件)   | 1988/6           | 33     | 13 8500  | 0.00  | THE ST. S. SEC. S. SEC. SEC. SEC. SEC. SEC. SE   | 404    | a sux er     | 39" 39" 39" | 80' 82' 19' 6 | 上下線                        | - #             | n.                   | 201367        | 6-8<br>6-1 | Meni       | est           | M.                | 12947  | П     | R 2 9.7     |                           |                | 1 1     | -     |                |       | - =                       | -        |     | : :                                     | 期限付近:馬利的な解除のうき等の変化が見られるものの、主要<br>都材に切除ど損害は見られない、よって、多過機の機能に実際は<br>生じて1ない状態である。   | 製造13号。長期期が連携xinx              | 0       | 3        | 285<br>80 23                             | Ħ                               |                     |
| 0.4,414200001  | я        | 京 保 年 李 在 在        | 84-543-9-24-2         | <b>展表:70時</b>                                 | 一般国道(祖定区開外)   | 1974年12時         | 22     | 14 BERR  |       | 100 X 64 85 6 45 85  | 0.00   | ili Sux er   | 39" 39" 4"  | 80, 95, 55, 6 | 1-943 上下線                  |                 | ч н.                 | 2008/810      | e-1        | Stand      | 4.95          | M.                | 12847  |       | R 2 9.0     |                           |                |         | -     | - 1            | =     | - =                       | T - T    |     |   | 模形を選集体は、14.1で、全ての課材において富食が見られることから、機能会体として選択かに貨物対策を行うことが発生しい。なお、経路が加強しないでは、直接後に維修工事として潜りとの開発が加工をという。   | 第週13号_久間開新歩通機 xiax            | 0       | GH<br>3  | 285<br>307                               |                                 |                     |
| 1-4,420#30001  |          | IN SERVICE         | 0247636705,0040       | · 在 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·       | <b>数温和导送</b>  | 1478.48          | 440    | # # # # # # # # # # # # # # # # # # #                      | 444   | 100 N A R R R A A R R R  | 808    | 4.00         | 31, 31, 11, | 89, 49, 94,   | 4-21 上下線                   | N.              | * m.                 | 20130.4       | N-2        | 124        | 4.005         | N.                | 12218  |       | R2 9.7      |                           |                | 1 1     | -     |                |       | - =                       | - 1      | =   |   | 模断が調性水体に加いて、期間的ではあるが、専用の範疇による<br>と考えられる変形があり、傾向機関は下にかかわる可能性もあ<br>り、機械の是余を機計するかのの対応が望まれる。   | 単石分 東京成 200 時の 20t x l xx     | 0       | Ga#<br>9 | 185<br>87 29:                            | 1                               |                     |
| 4,433/700002   |          | NO 100 9 205       | D 90-8 (8/28 / 98-0)  | · 在市台東 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·  | 都进和停运   | 1974年1月          | 270    | 13 85278   | 4.0.5 | で  | 800    | 4.00         | 39" 39" 38" | 133' 48' 7" 1 | 上下線                        | M.L.            | ч н.                 | 20 th (t) 12  | n1         | 384i       | 428           | N.                | 10829  |       | R 2 9.7     |                           |                |         | -     |                |       | - =                       |          | I 1 |   | 学院の開発をは、現在にはない。<br>学院の開発をは、現在にはない。<br>それ、前後では、概念に対象した。   | MERCON SALL MADE SAND-SELL IX | 0       | 9        | 685 16.1<br>(8)                          | 1                               |                     |
| 4,3117900003   | er:      | 100 p 200          | H-01798 08 3 8-0 8-0  | <b>在老者的</b> 8 知 2 知                           | BERRE<br>BERRE  | 1047年7月          | 363    | 1.0000   | 4.0.0 | ON E AN RAI AN RA  | 0.00   | 8 80         | 39" 39" 18" | 133' 80' 2"   | 24-0 上下線                   | -#              | и н.                 | 200 16 7      | h-2        | No.        | 4/6           | MR 保险少 在成         | 17963  |       | R2 9.7      |                           |                |         | 1-    | - 1            |       | - =                       | <u> </u> |     | -                                       | を用り間において間食や物味のそのが目立ち、機構の割りが予<br>割される。まち、他大管や物味が近の間食が見られ、土地貼りも<br>ある。とって、参加性の予防性なの物がら代記による物質や定<br>制かな物質を行うことが望ましい。  | 展記的技術の研究を表すない。                | 0       | - w      | 1.0                                      |                                 |                     |
| l-4,120#00001  |          | ****               | 0.098/3940            | <b>感觉半于效力</b> 能                               | BERRE<br>BERRE  | 1004 \$1 105     | 127    | 14 <b>8</b> -878   | 4.0.0 | *** · · · · · · · · · · · · · · · · · ·  | 0.00   | a 70         | 31' 31' 31' | 80" 18" 68"   | m. LTM                     | -#              | ち りゃぶを見り             | 29 10KB 12    | H =-1      | 1360 el    | 2.95          | ****              | 20899  |       | RE. 10. 13  |                           |                |         | -     | 1 1            |       | 1 1                       |          | 1   |   | 直接を指摘されば、配していませい。 おしかい (Min 200 (A)  | 集選 8子 境帯線 水馬が避免 x l cx        | 0       | 91       | ENS 20.                                  |                                 |                     |
| 5.4,311900003  |          | 2 (10 pt p) (2) (1 | 95771185696           | 6 25 × 9 5 50                                 | ERRES   | 10 7 to \$1 2.85 | 44     | 13 8588  | 4.0.6 | 87系4型銀荷  | 404    | x 76         | 39" 37" 10" | 80' 18' 97'   | m. 278                     | **              | 4 G. G. M.           | 6 CT 20186 2  | 工 ボガードナフィボ | asel       | 2%            | M.                | 24200  |       | R. H. H     |                           |                |         | -     |                |       |                           | -        | -   |   | 新明島 課回日前に可致を呼び取金があられ、物路の近行により様<br>近年の設計が研ざされる。予防保 (別報点が4単単に関を達<br>しることが3世上し、報告サコンケリートの以びわれが発動を<br>している。様式物の機能に関係は全じていないが、予防保全の報  | Mathematical Company (1)      | 0       | en.      | BB 1.4                                   | ŧΤ                              |                     |
| 5-4,1202000003 |          | <b>阿里斯沙皮斯</b>      | 0046400,00,0440       | 6 ER = 0 E B0                                 | 학교위우교   | 1968年2月          | 419    | 13 8500  | 0.00  | 87系4型銀筒  | 404    | a 76         | 39" 37" 38" | 80' 18' 43'   | mに 上下線                     | ××              | * #8.5-425           | 9-49-200K/E11 | M h-1      | asel       | est           | 1969-2            | 24989  | П     | R. H. H     |                           |                |         | -     | : :            |       | - 1                       | -        |     | -                                       | 東部に開発されていませた。 知知ない 小さかりはなが 向かれ、いら、食物はたい<br>食器 からかか 物 のと、学 から 神 かっぱい 田 いました (新年を) ない<br>マティンド こん 表 いまい 後の は 単一等 いました (新年を) ない 第<br>マティンド こん 人 ・ 特別を はい は 単一等 いっと と がまい  | Maturi Stracovinistata ka     | 0       | -        | . 1.º                                    |                                 |                     |
| 7-4,333200001  | **       | null day o day     | (#1094)99 (587)96)    | ******  | BERRE   | 2008 N           | 36     | 13 8588  | 4.00  | *** · · · · · · · · · · · · · · · · · ·  | 400    | x 70         | 39" 36" 35" | 89' 30' 49'   | m. LTM                     | =#              | * ***                | 100003        | A-1        | 324        | ***           | M.                | 11620  |       | R2 1 0.1    |                           |                | 1 1     | -     |                |       | - 1                       |          |     |   | ## ( )   | AND NOT THE PART OF COME IN   | 0       | 01       | BB 1.7                                   | 1                               |                     |
| 4,133200001    | *        | *11000M            | 0.02/146/256/0        | 推進631号  | 総国道(祖文区開刊)  | 2007 N           | 176    | 13 84878   | 0.00  | 87系4型銀符  | 0.04   | s-76         | 39" 37" 10" | 83' 20' 37'   | a. 278                     | - x             | *                    | ** 200M(1)    | N-E        | 334        | # /b          | M.                | 26,686 |       | R2 1 0.5    |                           |                | 1 -     | -     | - 1            |       | I -                       | -        |     | - :                                     | AA製造業部で物を指すと動物を示した。<br>特質の表現である。<br>場合はある。   | 裏直信号。米子けやき直5株×1×x             | 0       | G-1      | 1.0                                      |                                 |                     |
| 4,1203000003   |          | 10 to 40 cm        | 0.0110-30-0           | 銀後1 80号                                       | 松田道(祖芝田町片)  | 1979/8           | 410    | 14 84878   |       | 100 年 1.20 後年  | 0.00   | - 590        | 38' 16' 16' | 133' 24' 22'  | m. Eve                     |                 | * 15 10HE 18         | 201 (6.3)     | 7-0        | ward       | 44            | M.                | 6299   | П     | R2 1 0.0    |                           |                |         | -     | I -            |       | - 1                       | 1        | 1 - | -   -                                   | A STALL THE STREET THE SECOND STALL THE STREET THE SECOND STALL THE SECOND | 製造100号_塔の韓歩連携 xis x           | 0       | 0.       | 465 0.1                                  | H                               |                     |

門型標聯等個別施設計画一階表

| 門型標節               | 等個別          | 施設計        | 面一覧表  |        |         |   |  |           |                |      |             |             |              |         |            |                             |               |             |              |       |         |                 |                        |                                       |                      |                                       |       |          |          |       |  |              |             |                    |                |                     |         |
|--------------------|--------------|------------|---|--------|---------|---|--|-----------|----------------|------|-------------|-------------|--------------|---------|------------|-----------------------------|---------------|-------------|--------------|-------|---------|-----------------|------------------------|---------------------------------------|----------------------|---------------------------------------|-------|----------|----------|-------|--|--------------|-------------|--------------------|----------------|---------------------|---------|
| 国文名作 華用<br>番号      |              |            |   |        |         |   |  |           |                | 83   |             |             |              |         |            |                             |               |             |              |       |         |                 |                        |                                       |                      |                                       |       |          |          |       |  |              |             |                    |                |                     |         |
| 智理器号               | 220          | ER6        | 2548  | 2027   | BRIGA S | NE 10R  |  | 81        |                | -    | erangene    | 2.6         |              | page.   | + 29-74    | 20M2 1                      | 4400 ARR      | 2 Date 4x 1 | 2 AM AMES O  | H     | 6.60250 |                 | encist .               |                                       | 422                  | 模梁                                    | 信用状を  | 84       | プラケット    | 200   |  |              | 65 4821 III |                    | CHESS<br>CHESS | 相談形式                | 98      |
| 8487               |              | ER6        | 246 E15E11  | _GE 65 | (ee)    | (10)  | ES:  | 8466      | 239500         | 6    | 300046      | HEX         | 植浆           | DRX     | 88         | 311                         | <b>新</b> (68) | A DOME OF 1 | V 600 17 600 | RP RE | RB RIO  | RII 和快速店<br>和月日 | 表更純年 施設 朝<br>月日 中間 日   | (D) 文化本体 天                            | HEE COR              |                                       |       | 基礎コンポルトナ |          | 400   | RR.  | 所検察記録等式ファイル名 | R R R R     | D R11              | FI)            | 有利之英<br>純年月日        | es and  |
|                    | × 副数<br>A 郵流 |            | - 최초대학교<br>상대의 경고 대<br>상대의 경고 대<br>소대의 경고 대<br>전리 위권<br>- 전리 위권 |        |         | · 风色<br>· 图 · 图 · 图 · 图 · 图 · 图 · 图 · 图 · 图 · 图 | 1日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日本<br>日 |           |                |      |             |             |              |         | 上7個<br>十万個 | - 次<br>- 二次<br>- 二次<br>- 無し |               |             |              |       |         |                 | - II<br>- III<br>- III | : : : : : : : : : : : : : : : : : : : | 1 11<br>1 12<br>7 12 | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | : : : | 90-14E   | 308 Bord | - H   |  |              |             | Rid                | Rum            | - I<br>- II<br>- II |         |
| 1 41,120410-0014   | 20           | 10 (III) I | <b>泉 進為 取巻館</b>   | 7-91   | 20      | 458   | er s   | A 20A     | 鳥取泉土 整備事 推所    | 808  | <b>高期</b> 市 | 35" 31" 52" | 134" 11" 54" | ML.     | 上9線        | - 次                         | ta.           | WAUR        | 再查包用数        | 0     | Ш       | 82. 9. 23       |                        |                                       | 1                    |                                       |       |          |          | - 8   | 要全体に基面的公開が見受けられる。第の進行を控制するれめ、筋食<br>間の美格が可加い、長男特件(添加機関)については直検未実施。直<br>者へ直接を要認識いない。   |              | 0           | 85 5) 98           | 0.6            |                     |         |
| 2 41,120410-000.8  | 20           | 15 (EE) E  | B 进兵 取物線  | 7.99   | 30      | ena   | in st  | G 20R     | 為取 泉土 整備事 務所   | 8,08 | e, tot      | 35" 31" 12" | 134" 12" 09" | ML      | 798        | -#                          | 480ARX        | WAUR        | 再生装款的        | 0     | H       | 82. 9. 23       |                        |                                       | I                    |                                       |       | -        | -        |       | 者へ直接を実践部に付い、<br>接取付額の下面額に開発値が見受けられるが、周州的であるかめ、様<br>工事で対応と、開放の間を付出るようで、。 点明時代(急車機能)につ<br>では1回機能の、高月者へ関係で発調器となり、   |              | 0           | E 294              | 0.6            | +                   | +       |
| 3 41,120420-001.4  | 20           | 15 HEEK    | R 进入 取租款 M  | 7-91   | 25      | 658   | er sa  | A 108     | 鳥取 祭土 整備事 務所   | 8,08 | B. State    | 35" 29" 43" | 134" 13" 29" | ML      | LTH        | 二次                          | 100 HE 10     | WAUR        | 再全装照款        | 0     | 0       | 82. 9. 17       |                        |                                       |                      | 1                                     |       | 1        | -        | - 11  | 分的に裏面的に繋が見せけられる。葉の進行を印刷するため、飲食品<br>の実施が望れ、い、点用物料、溶解機能につくでは直検未実施、占用<br>へ直検を開発的でれ、   |              | 0           | 更數                 | 13             |                     |         |
| 4 41,120430 002.4  | 20           | in Hills   | 8.进兵 取证的 線  | 不明     | 30      | 658   | UT SE  | A 20R     | 鳥取 祭土 整備事 務所   | 8.08 | 6.00        | 35" 29" 41" | 134" 13" 36" | ML      | 79#        | =:本                         | HORSE         | WAUR        | <b>再查包用的</b> | 0     | 0       | R2. 1 G. 12     | =                      | 1                                     | 1 -                  |                                       | 1     |          |          | - 1   | 付節の利ルに調査が目立つが、構造物の機能に実際は全じている。<br>、享取が作型は必要としないが、定期的な経過機能が必要であるだ。<br>、別の健全性をまる部間する。  |              | 0           | g to               | 9.5            |                     |         |
| 5 41,120430 003.4  | 8            | 10 HEER 1  | 8.进车 李祖郎 總  | 4:46   | 30      | 858   | *  | H 25 M    | 鳥取 泉土 整備事 務所   | 8,08 | 典學市         | 35" 29" 40" | 134" 13" 36" | ML      | EV#        | =                           | 100-42 10     | WAUR        | 再使装可能        | 0     |         | R2. 10. 5       |                        | =                                     | I -                  |                                       |       |          | -   -    |       | 材の変食は進行しており、積極の超声を検討するための対応が望まれ<br>、今後、積極度を提行すれば、原理の経営が必要となるので、変期的な<br>様は必要である。また、対策を考慮する場合は、比較的順利な構造で<br>るため、原料とり更数が設としい。   |              | 0           | 部分報<br>停<br>更新     | 10.1           |                     |         |
| 6 41,132650-003.4  | 20           | 10.000     | <b>非进场山东取</b> 線   | 不明     | 15      | 458   | St. W  | A 108     | 鳥歌 祭土 整備事 推所   | 8,08 | 典物市         | 35" 32" 18" | 134" 14" 10" | ML      | 上下網        | 仮定無し                        | 109-98 34     | WAUR        | 再生装施数        | 0     |         | 82. 10. 5       |                        |                                       | 1                    | I                                     |       | 1        | -        | 1 0   | 原制司、百姓二等(人) 経罪の違かが見受けられる。 機能物の機能に3<br>が生じる可能性があるため、早期に措置を講じる必要がある。1900年<br>7年終逝に設置されているため、現年実化と考えられる。  |              | ٥           | 部分報<br>原<br>更新     | 10.1           |                     |         |
| 7 41,12050-0024    | 8            | IN HEER    | <b>集进身山东取</b> 線   | 31-88  | 15      | 858   | 対象   | A 20R     | 鳥取 祭土 整備事 推附   | 6,08 | <b>乌</b> 斯市 | 15" 32" 19" | 134" 14" 14" | ML      | LTH        | 敬定祭し                        | ¢ц            | WAUR        | 再查包图数        | 0     |         | R2. 10.5        | 1                      | 1                                     | 1 -                  |                                       | I     | 1 -      |          | 1 0   | に機能等等・取付割と取付的がよりの表面がありました。を見まてあ<br>ため、構造物の機能に実際は全じてしない。予防保全の観点より、他の<br>のこれ機器を開じることが関して、  |              | 0           | 部分報<br>機<br>製<br>動 | 13.6           |                     |         |
| 8 41,133650-001.4  | 20           | 10.000     | <b>非进场山东取</b> 餘   | 不明     | 15      | 458   | SET ISK  | S 208     | 鳥歌 祭土 整備等 務所   | 8,08 | 典物性         | 35" 32' 19" | 134" 14" 19" | ML      | 上下器        | 似定無し                        | 109/48 34     | WAUR        | 再生装肥款        | 0     |         | 82. 10. 5       | 1                      |                                       | 1 -                  |                                       | s     |          | -   -    | - 8   | に模索取付款と取付額が以上の表面とび2乗られる程度である。実施<br>間に対力による関係(国金)が集られるので、予防傷金の機能から、収容<br>次にに監視が付 間と行うととが誰ししてに、施設の健全性を目と辞<br>する。   |              | 0           | 数分報<br>数           | 0.6            |                     |         |
| 9 41,122900-001.8  | 8            | IN HEER    | <b>泉透嫩河青谷</b> 線   | 31-88  | 16      | 858   | 対象   | A 20R     | 鳥取 祭土 整備事 推附   | 6,08 | <b>乌</b> 斯市 | 35" 31" 23" | 134" 00" 08" | ML      | LTH        | 三次                          | 10945 10      | WAUR        | 再查包图数        | 0     |         | R2. 10. 6       | 1                      |                                       | 1 -                  |                                       | I     |          |          | I (2  | 秋本体上部や塩付部の水ルに腐食が料立つ。構造物の機能に耳頭<br>金にている」が、機能物付部のポストに不異常が見られるため、代配<br>次にた監視性対能が必要であるとし、接致の酸性を目と診断する。   |              | 0           | 部 分報<br>章          | 0.6            |                     |         |
| 10 41,133190-001A  | 20           | 10 (III)   | <b>高速伏野災中線</b>  | 不明     | 8.5     | 658   | lat fil  | S. 10 S.  | 鳥歌 祭土 整備事 推所   | 8,08 | 島郡市         | 35" 31' 19" | 134" 09" 46" | ML      | 上下網        | 仮定無し                        | 109/48 10     | WAUR        | 再使装可能        | 0     |         | N2. 10. 6       | 1                      |                                       | ı -                  | 1 1                                   | ı     |          |          |       | 国総理制化が登録されるから、6年に基準だが目立つ、心ター<br>ット・グ部からしゃでは、一句で国際を呼う変更経過した。登録され<br>か今後の変更が16世であるので、収別に対し、監視や対策が必要<br>して、経路の数を持ち立と対象する。   |              | 0           | 部分報<br>中<br>東<br>歌 | 10.1           |                     |         |
| 11 81_211780228    | 20           | 10 HEER 1  | 国进179号  | 1990   | 6.6     | esa   | ar na  | A DR      | 中部県土型機局        | 8,08 | 自古市         | 35" 25" 34" | 133" 50" 45" | 46-1 -1 | 下り継        | 本                           | ¢L.           | 2.11        | 再使获用数        | 0     |         | R2. 10. 6       |                        | 1                                     | 1 -                  |                                       | z     |          | -   -    | I 8   | にトラス駅と取付数がありの映画をびが見られる程度であるため、構造<br>の機能に支援は身にていない、GL-40の視察を実施していないので、<br>3015にも、観察を行うことが登録よい。  |              | 0           | 部 分報<br>修<br>更 新   | 13.6           |                     |         |
| 12 (1_211780228    | 20           | IN HERE    | 至进179号  | 1996   | 13      | esa   | 対象   | A 108     | 中部 祭土 整備局      | 8,08 | 自市市         | 35" 26" 25" | 133" 50" 35" | 49-5 -4 | LTM        | 本                           | 109-95 10     | 2.5         | 再生装肥的        | 0     | Ш       | R2. 1 G. 12     |                        |                                       | I                    |                                       | I     | -        | -        |       | 全である。  |              | 0           | 部分報<br>修<br>更新     | 13.6           |                     |         |
| 13 (1_21178034)    | 20           | IN HERE    | 至进179号  | 25 MI  | 13      | esa   | 対象   | A 108     | 中部 祭土 整備局      | 8,08 | 自市市         | 35" 27" 06" | 133" 50" 43" | 52-3-4  | LTM        | 本                           | QL.           | WAUR        | 再生装肥的        | 0     | Ш       | R2. 1 G. 12     |                        |                                       | I                    | I                                     |       | -        | -        |       | 体的に裏面的に繋が見受けられる。葉の道行を抑制するれる。原食品<br>の実施が望起して、直角物所、溶解・機能については直接未実施。音声<br>へ直接を理解能されて、   |              | 0           | 部 分報<br>株          | 0.6            |                     |         |
| 14 KI_21178025A    | 20           | 10 (III)   | 国进179号  | 1992   | _       | 458   | er sk  | A 208     | 中部県土型機局        | 8,08 | 自古市         | 15" 27" 14" | 133" 50" 42" | 52-7-0  | 上下線        | -次                          | tar.          | 2.5         | 再查包图数        | 0     | Ш       | 82.10.13        | 1                      | 1                                     | I -                  |                                       | 1     |          | -   -    |       | にトラス部と検索取付助付近の裏面とびが見られる程度であるため、<br>遺物の機能に支薄は針にないない、アスファルト部の品に40の確認は<br>第にていないので、依旧に応じる機を行うことが望ました。   |              | ۰           | 部分報<br>章           | 0.6            | _                   |         |
| 15 KI_2202.802 IA  | 20           | 10.000     | <b>多进</b> 愈古杂良棘   | 不明     |         | 458   | SPT ISK  | A 208     | 中部県土型機局        | 8,08 | 自古中         | 35" 28" 17" | 133" 46" 31" | 13-7-0  | 上り線        | 似定物し                        | ¢L.           | WAUR        | 再全包附近        | 0     | Ш       | R2. 10. 8       | 1                      | 1                                     | I -                  | 1 1                                   | I     |          | -   -    |       | に機能動付款と機能調子部所に表面が3が乗られる。アスファルト部の<br>4-4の地部は実施していないので、状況の次に対面でありませか対象を行うこと<br>望ましたとして、施設の健全性を目と診断する。  |              | ۰           | 85 5) N<br>8       | 0.6            | _                   |         |
| 16 KI_220220000A   | 20           | in recor   | <b>非进</b> 愈古杂杂种   | 7:00   | 10      | 658   | 対象   | S. 108    | 中部 泉土 整備局      | 8,08 | 自古市         | 35" 28" 12" | 133" 46" 32" | 13-2 +1 | LTM        | 似を無し                        | ¢L.           | WAUR        | 再全装用的        | 0     | Ш       | 82. 9. 23       | 1                      |                                       |                      | I                                     | -     | -        | -        | -     | 分的二裏面的な鍵が見受けられる。娘の選打を抑制するため、防食場の実施が登記して、高月物料、溶解・機能につない立立を検束実施、高月へ高長を問題がたい。<br>電影が対象に対象がない。<br>で高長を問題がたい。   |              | ۰           | 部 分報<br>株          | 0.6            | _                   |         |
| 17 11,220280194    | 20           | 10.000     | <b>多进</b> 愈古杂良棘   | 不明     | 9.5     | 458   | SPT ISK  | A 208     | 中部県土型機局        | 8,08 | 自古中         | 35" 28" 07" | 133" 46" 34" | 13-4+1  | 上下線        | 似定物し                        | ¢L.           | WAUR        | 再全包附近        | 0     | Ш       | R2. 1 G. 12     | 1                      |                                       | I                    |                                       |       | -        | -        | - 8   | 、延旋の健全性は立いで、高用物件(添架機関)については直接来美<br>、高用者へ通報を更調整した。  |              | ۰           | 数分報                | 0.6            | _                   |         |
| 18 KI_4143 0004A   | 20           | 10 (EE) E  | <b>国进41</b> 9   | 不明     | 12.5    | 458   | SPT ISK  | A 208     | 米子 祭土 整備局      | 8,08 | 換港市         | 35" 32" 34" | 133" 14" 46" | 0-14+3  | 79#        | 次                           | ¢L.           | WAUR        | 再全包附近        | 0     | Ш       | R2. 9. 24       | 1                      |                                       | 1                    | I                                     |       | -        | -        | - 8   | 分的に裏面離が見受けられる。側の連行を控制するため、防食処理の<br>形が望ましい<br>国権取付部の一部の指令しそのかびが開すぐるる。気を終の言称を  |              | ۰           | 85 5) N<br>85      | 0.6            | _                   |         |
| 19 KI_4143 0025A   | 20           | in record  | B2619   | 1990   | -       | esa   | 対象   | A 108     | 米子 保土 整備局      | 8,08 | 映 市市        | 35" 32" 19" | 133" 14" 34" | 1-0-20  | £9#        |                             | GL.           | 2.5         | 再生装肥的        | 0     | Ш       | 82. 10. 8       |                        | 1                                     | r -                  | 1 1                                   | ı     |          |          | -     | が歴史録に接触しないる。構造物の機能に支持が多じてはいないが、<br>情報をの観点から依定に応じ起摘や対策を行うことが望ました。   |              | ٥           | 部分報<br>章           | 0.6            | 4                   |         |
| 20 11,4143 01104   | 20           | 10 (IEEE   | 20世年1月  | 1992   |         | 458   | IN SE  | A 208     | 米子 祭土 整備局      | 8,08 | 米子市         | 35" 27" 53" | 133" 18" 37" | 22-5+2  | 上下器        |                             | 100-42 10     | 2.5         | 再型装肥的        | 0     | Ш       | R2. 1 G. 13     | 1                      |                                       | I                    | I                                     |       | -        | -        |       | 章、標準経験が 部二英重的な競 が表示けられる。<br>の進行を探明するかが、防御経理の実施が望ました。   |              | ٥           | 新分報<br>第           | 0.6            | _                   |         |
| 21 41,414310 2244  |              |            | E 26 C 19   | **#    | _       | +   | 財保   |           | <b>米子県土登議局</b> | 8,08 |             | 15" 26" 02" | 133" 23" 46" | 21-2+4  | 上下線        |                             | 109-98 10     | WAUR        | 再全装图数        | ٥     | Ш       | R2. 10. 6       |                        | 1                                     | =                    | 1                                     | -     | I        | -        |       | 村に孔会賞選が見受けられる。今後度会の選門におり構造物の機能に<br>連が他にも「整合物のあるかか、加熱に指定を謀る必要がある。別<br>作り深度確認していてはる様果実施。五年数十点株を登録施いない<br>分的に世級の子化、異議的公路を見受けられる。鉄の選行を抑制する                                     |              | ٥           | 部分報<br>課           | 0.6            | $\dashv$            | +       |
| 22 41,433170 001.8 | -+           |            | R. 进向 二种的 福原 植  | 1992   | -       | -   | in si  | A 108     | <b>米子県土型機局</b> | 8,08 | * 71        | 15" 27" 50" | 133" 18" 39" | 0-0-0   | 上り線        | 三次                          | QL.           | 2.5         | 再使装可能        | 0     | 0       | R2. 10. 6       | 1                      | +                                     |                      | I                                     | I     | -        | -        |       | 分的に主席の中の、真面的の機・大勢の下される。他の思行を目的する<br>の、数分を強の英語が変えば、、発展研究は、使用からなりを対し<br>ため、数分を観音が行い、エンタンーやで進め扱い。 在刊物件・設定機<br>以に、3人では直接を選集。 との場合・直接を登録しない。<br>「機器数分割のようとの音を分割しなか、更新が終した。」の記述  |              | ۰           | 更新                 | 13.0           | $\dashv$            | +       |
| 23 41,411810 1904  | _            | in record  | 国进11号   | 1990   | _       | _   | 対象   | S. 108    | 米子 保土 整備局      | 8,08 | 米子市         | 15" 25' 32" | 133" 20" 36" | 82-0+4  | LTM        |                             | 1099-968 300  | 2.5         | 再生装肥的        | ٥     | Ш       | R2. 1 G. 12     | 1                      | _                                     |                      | 1 1                                   |       |          |          | - 8   | 調報取付部のポルトの重要が悪しべめ、早期のポルナナル交換が<br>ました。実践まはに期3度があるが、監視や原水恒置等の予防保全で<br>個型が19月1人。  |              | ٥           | 部分報<br>章           | 0.6            | 4                   | $\perp$ |
| 24 41,420010-0160  | -            | _          | 泉 进湾 D伯太郎   | 7.98   | -       | -   | ar sa  | A 208     | 米子 祭土 整備局      | 8,08 | (1) (1) (1) | 15" 20" 33" | 133" 25" 44" | 4-2+ X  | 上下線        | 二次                          | 100-42 10     | WAUR        | 再生装捆卸        | 0     | Щ       | R2. 1 G. 12     |                        | 1                                     |                      |                                       |       |          |          | 1 6   | が認めれれて選金が目立つが、概念物の機能に実際は多じている。<br>、早期の特別は必要されないが、支限的な経過物が必要であると、<br>汲の健全性を主と診断する。<br>他の一度をが目立った、実際が14付下とよどである。は、2時の18時に  |              | ٥           | # 574<br>#         | 0.6            | $\dashv$            | +       |
| 25 41,400470 151.8 | -            | in record  | 私进水子坡掛線   | **#    | _       | -   | 財保   | H, 108    | <b>米子県土登議局</b> | 8,08 | * 71        | 35" 31" 43" | 133" 12" 39" | 34-2+3  | 下り継        |                             | QL.           | WAUR        | 再全装图数        | 0     | Ш       | R2. 10. 5       |                        | 1                                     |                      |                                       |       |          |          | 1 3   | 体的に変変が目立った、裏面大りがなとんどで多り、値 選択の機能に<br>第11条にくいない。単項の対抗な必要としないが、定期的公路通期等<br>必要であるとし、国際小路全性を まと診断する。  |              | ٥           | 85.574E            | 0.6            | _                   |         |
| 25 41,439070-003.4 |              | 10.100.0   | R 进管 SREE 88  | 不明     | _       | _   | ar sa  | A 208     | <b>米子県土型機局</b> | 8,08 | 米子市         | 15" 27" 04" | 133" 21" 26" | 2-0+0   | 上り継        | 二次                          | 100-42 10     | WAUR        | 再生装捆卸        | 0     | Щ       | N2. 10. 7       |                        | 1                                     |                      |                                       |       |          |          | - 6   | 分的な重要が残なつか、実施・びであり、構造物の機能に支援されて<br>いない、解析の対象は必要としないが、機能機能が終われいて支援的<br>経過機能が必要があるとし、施設の健全性を1と診断する。<br>2.7 mail.の機即機能数数のは全性を1と診断する。<br>2.7 mail.の機即機能数数のは、2.0 mm が たとる、土のが経理 |              | ٥           | # 分報               | 0.6            | $\dashv$            | +       |
| 27 41,120410-0030  |              | in record  | <b>泉进岛</b> 取卷線  | **#    |         | _   | 財保   |           | 鳥歌 泉土 整備事 務所   | 8,08 | e, tot      | 35" 31" 12" | 134 12 27    | 4-5-0   | Ë          | 数定策し                        | 109-98 10     | WAUR        | 再全装图数        | ₩     | Ш       | R2. 1 G. 13     | -                      | 1                                     | 1 -                  | 1 1                                   | 1     |          |          | 1 6   | スファルルの路面適用部の企、40の状況を確認。たところ、十分な相用<br>にている代謝に、構造物の機能に支援主意しているとして、<br>派の概念性を12部間する。<br>分的二裏面的心臓・質食が見受けられる。質の進行を同時するため、   |              | ٥           | 85.574<br>8        | -              | $\dashv$            | $\perp$ |
| 25 41,120410-0042  | -            | in otto    | 易 連角 取卷線  | 7-86   | -       | +   | ar sa  | H, 10/R   | 鳥取 祭土 整備事 推所   | 8,08 |             | 35" 31" 09" | 134" 12" 29" | 4-5- X  | 上下線        | 数定策し                        | 100-48 (4)    | WAUR        | 再型装置数        | Ť     | Ш       | 82. 10. 8       |                        | +                                     |                      |                                       | -     |          | -        | - 8   | 分的二書面的名類・画文が見受けられる。誰の進行を印刷するため、<br>食物語の実施が空乱は、一類経行物に関ロ(ton)が見受けられる。<br>通知の難念、支頭は低・なっないが、予防機会・職者から経営を譲く<br>二名が変乱は、  |              | ٥           | # 574<br>#         | 0.6            | +                   | +       |
| 29 41,411810 3050  | _            | in recor   | 国进19  | **#    |         | _   | ST SK  | in, think | 米子 採土 整備局      | 8,08 | 米子市         | 15" 24" 34" | 133" 21" 38" | 77-1+4  | 上下槽        | 一次                          | 10945         | WAUR        | 再生装施数        |       | Ш       | N2. 10. 7       |                        | 1                                     | I -                  | 1 1                                   | 1     | I I      | - -      | -     | 食等の実状は物と見られないため、施設の健全性を:と診断する。   |              | ٥           | 8 94               | 0.6            | _                   |         |
| 30 41,414310 2064  | _            | 10.100.00  | S 25-0 19   | 不明     | _       | _   | ar sa  |           | 米子 祭土 整備局      | 4    | 自古津村        | 35" 26" 48" | 133" 22" 39" | 29-9+3  | 上下槽        | -次                          | ¢L.           | WAUR        | 再生装捆卸        |       | Ш       | N2. 10. 7       |                        | 1                                     | I -                  | -   -                                 | 1     | 1 1      | - -      | -     | 用的な機能な影響をUが見られる程度である。<br>LL・部材の変状は見られないため、施設の機会性をIと診断する。   |              | ۰           | # #                | 0.6            | _                   |         |
| 31 41,511810-001.8 | -            | in otto    | <b>30</b> 建19   | 1969   |         | +   | ar sa  | H, 10/R   | 口野泉土型機局        | +    | 12 \$985    | 15" 11" 45" | 133" 31' 08" | ML      | 上下線        |                             | QL.           | 8.00        | 再使装肥的        | ₩     | 0       | 82. 10. 7       |                        | 1                                     | 1 -                  | 1 1                                   | 1     | 1 1      |          | - 1   | 用的な経験な異異なびが見られる程度である。<br>によ解析の変状は見られないため、経験の健全性を1と診断する<br>Mkの変象は進行にており、機能の認用を検討するための対応が望まれ   |              | 0           | g as               | 9.5            | +                   | +       |
| 22 Macroso         | 20           | in ettis   | B.进程的关键 数型的系型   | 1997   | 10.8    | - 658   | IN SE  | R 25R     | 鳥歌 祭土 整備事 務所   | 8,08 | <b>电动</b> 性 | 35" 33" 36" | 134" 16" 59" | 1       | 上9額        | -*                          | QL.           | 2.0         | 再使装可能        | 0     |         | HDO. 8. 20      |                        |                                       | I -                  |                                       |       |          |          | 1 : 5 | 、今後、韓国政士銀行すれば、原明の経営が必要となるので、京明的の<br>様は必要である。また、対策を考慮する場合は、比較的 期所な構造で<br>るため、解集と与更数が関ビしい。   | 1            | 0           | 85.5) N            | 0.6            |                     |         |

道路情報提供装置個別施設計画一覧表

| 國家 <b>省市</b> | 3,88  |                    |                   |               |       |                |                  |  |              | RR         |                |             |              |                 |          |              |       |      |         |     |         |   |                 |                    |               |  |           |                  | 水粉計画・     | 6.60.201-16.00.2011   |              |           |                                       |                     |                   |           |
|--------------|-------|--------------------|-------------------|---------------|-------|----------------|------------------|--|--------------|------------|----------------|-------------|--------------|-----------------|----------|--------------|-------|------|---------|-----|---------|---|-----------------|--------------------|---------------|--|-----------|------------------|-----------|---|--------------|-----------|---------------------------------------|---------------------|-------------------|-----------|
|              | 0.800 | 163F G             | 34                | 4             |       |                |                  |  | 818          |            | 1780004        | 2.69        | ND位置         |                 |          |              |       |      |         |     | /60 HE  |   |                 |                    |               |  |           | 69330            |           |   |              | 多株計画      |                                       | eros                | 92330             |           |
| 19 19 40     | , 277 | NIR6               | 2446              | амен          | (高度)  | <b>連邦信用</b> タラ |                  | DE)                                      | 838 c 83880c | #####<br>6 | 75 CREST 1-195 | 40页         | 模文           | 部職機(4-<br>ロボスト) | 29-下9 架地 | 述 代数据:<br>有無 | - 642 | (68) | 建設供經過年數 | 交通量 | RE RO E | (A) | RE 開発等度<br>ロ 月口 |                    | 概章<br>の他 模型が終 | 登 信用報等<br>治径部 信取収 逆回車等 その他<br>終于部 信 (幻真等 | 基礎ングント格がい | フラケット<br>トナ 本株 1 | 777 - ece | MR.   | 点検表記録料はファイル名 | 2 Rt Rt R | Rio Rii                               | 場内容 全額 第2<br>円)     | 为<br>再刊之英<br>指句月日 | RM之以<br>分 |
|              |       |                    |                   | - 吳也們的申請性<br> |       |                | ·                | 日本 日 |              |            |                |             |              |                 | 上八樓      | φ. <b>(</b>  |       |      |         |     |         |   |                 | - 1<br>- 2<br>- 27 |               |  |           |                  |           |   |              |           | R                                     | Supp R7µpp          | 1                 |           |
| 1 43,21230   | 910   | 医神经眼球外球菌           | - <b>8</b> 数速272号 | 一般国道(祖史 国際州)  | 19 90 | 8.5            | - 458.7          | na n                                     | NSF 素型土型     | ADE        | No. comp.      | 25" 10" 20" | 122"19 6"    | ML.             | ±48      | × 4          | -668  | &L   | 2515    |     | 0       | 12.5                                    | 30              |                    |               | 1  | -         | -                | 1         | 議僚に 部分的な裏面側が見 受けられる。<br>側の進 行を何制するため、 防食処理の実施が望ま しい。  |              | 0         | 都保安                                   | 5988<br>89<br>89    | 5                 |           |
| 2 43,31990   | 000   | 医神经眼球外球菌           | — 新歌道179号         | 一般国道(祖定 区間片)  | 19 92 | 6.0            | - 658.9          | n An                                     | · 如果土型番禺     | ADE        | 三朝町            | 25" 17" 25" | 122" 20 9 "  | ML.             | ±48      | × 4          | -668  | &L   | 22/10   |     | 0       | 12. 1                                   | 0.9             |                    |               |  | п         | -                | 1         | 部分的 に高温的な機が見受けられる。<br>側の通 行を抑制するために、防食処理の実施が逆 ましい。  |              | 0         | 都學更                                   | 5988<br>38.1<br>89  | 5                 |           |
| 3 43,31990   | esc   | 医神经眼球外球菌           | — 新歌道179号         | 一般国道(祖定 区間片)  | 19 93 | 6.5            | 3.5 都進用          | n An                                     | · 如果土型番禺     | ADE        | 三朝町            | 25" 24" 34" | 122" 2 1 39" | 73-1+10         | T-98     | × 4          | -668  | &L   | 22.1%   |     | 0       | 12. 1                                   | 0.6             |                    | 1             | 1  | -         | -                | 1         | 鍵全である。  |              | 0         | 都保更                                   | 59報<br>38.1<br>軟    | 5                 |           |
| 4 43,33920   | 000   | 直時情報提供装置<br>各件公公司的 | <b>用进台古有 谷相</b>   | 一般国道(祖定 区間片)  | 20 03 | 6.5            | 2.5 概度用          | na n                                     | · 取祭         | ADE        | <b>海水水</b> 町   | 25" 21" 17" | 122" 25 91"  | 59-5-25         | ±98 =    | <b>大</b> 有   | -62   | GL.  | 22.75   |     | 0       | 12.5                                    | 16              | 1                  | 1             |  | -         | -                |           | 日発度 記録集は、41101000 E と同一医療のため省略する。   |              | 0         | 都在東                                   | 5)98<br>81<br>81    | 3                 |           |
| 5 43,33820   | 990   | <b>医阿特勒埃外袋室</b>    | <b>用混合古青 谷田</b>   | BERRE         | 20 03 | 6.5            | 3.5 <b>658</b> 8 | na n                                     | · 数原         | ADE        | 海水水町           | 25" 24" 32" | 122"52 0"    | 91-1+35         | ±40 =    | х я          | -608  | GL.  | 22.1%   |     | 0       | 10.1                                    | 0.8             | 1 1                | 1 1           | 1 - 1 -                                  | -   -     |                  | - 1       | ソーラー取付部のナットが 超 用税率している。ポルト例をハン<br>マーで 強行したがらつき は思られない。 取締用の取付金責む あ<br>もため、機造物機能に支 降ないものそる。 よって、状況に応<br>して、 監視や修置を講じる ものとする。                   |              | 0         | 都<br>學<br>更                           | 5988<br>89          | 3                 |           |
| 6 43,41610   | osc   | 医神经电视体装置           | 一般配達421号          | 一般国道(祖定 国际的)  | 13 25 | 13.0           | 2.0 概能用          | na n                                     | NNR 水子原土型器 N | ADE        | 8.75           | 25" 16" 51" | 122"55 @"    | 1-7+40          | 上98 一    | * #          | -62   | GL.  | 2017    |     | 0       | R2. 10                                  | .13             |                    | 1 1           |  |           | -                | - 1       | 設置を 月は不明であるが、 経療水体の変化が目立つ。<br>関呼点 では構造物の機能に 実際は生じていないが、 予防保全の報<br>点から 仗災に応じた対策を 行うことが望ましい状態である。   |              | 0         | 都保更                                   | 5988<br>89<br>89    | 2                 |           |
| 7 42,41610   | 00C   | 医异种酚磺甲基苯           | - 800連421号        | 一般国道(位定 国際州)  | 19 95 | 13.0           | 2.0 概度用          | na n                                     | ND県 米子県土型県 略 | ADE        | x 75           | 25" 16" 52" | 133"55 @"    | 1-9+30          | ±788     | х я          | -868  | GL.  | 20°E    |     | 0       | R2.10                                   | .13             | 1 1 2              |               | 1 1 -                                    | - -       | - 1              |           | 変換基 酸に対いては、土物 部のQ - 中ではさびの発 急が確認され<br>れ、機 変称や温評価報係の 広範囲において、実施 さびが 見られ<br>る、現 時名では構造物の機 部に支配は急じていないが、 予防星を<br>の報点 から状況に応じた対 盤を行うことが望ましい状態である。 |              | 0         | # # # # # # # # # # # # # # # # # # # | 5)98<br>81<br>65.1  | 2                 |           |
| 8 43,420.00  | 010   | 医异种酚医中央医           | 祭道米子大山銀           | 一般国基(指定 国际的)  | 13 94 | 5.5            | 2.5 概能用          | na n                                     | NNR 米子原土整備 N | ADE        | 8.75           | 25" 12" 46" | 123" 26 15"  | ML.             | ±98 =    | × 4          | -62   | GL.  | 2117    |     | 0       | 12.5                                    | 26              |                    |               |  | -         | -                |           | 部分的に高温的な繋が視受けられる。<br>側の進行を抑制する心の、防食知識の実施が望ましい。  |              | 0         | # # # #                               | 5988<br>89<br>89    | s                 |           |
| 9 43,41900   | 010   | 医异性眼球外突医           | - AREIE1 80 H     | 一般国道(祖定 国際的)  | 13.94 | 6.0            | 2.0 衛道用          | na a                                     | NNR 米子県土型番馬  | ADE        | at aper        | 25" 19" 49" | 122"50 6"    | 23-0-35         | 上下級      | * #          | -62   | &L   | 2117    |     | 0       | 12.1                                    | 0.9             |                    | 1 1           | 1  |           | -                | - 1       | 集単行 近、標準を取付的に 軽減な表面さりが見られる。 ペーペン<br>レート 基礎部において、コンクリートの機能があり、それが専功<br>でペースプレートにさびの 見生が見られる。 予防 体全の観点から<br>状況に応じた対策を行うことが望ましい。                 |              | 0         | 無學更                                   | 5988<br>89          | ś                 |           |
| 10 42,41910  | 010   | 医神经电视体系置           | -60021919         | 一般国基(指定 国际的)  | 20 00 | 6.0            | - 658.9          | na n                                     | ND県 米子県土型番馬  | ADE        | (A ST)         | 25" 22" 41" | 124" 12 4"   | 6-9+36          | 798 -I   | × 4          | -62   | GL.  | 2517    |     | 0       | 12. 1                                   | 0.1             |                    | 1 1           |  | 1 -       |                  | - 1       | アンカーボルト・ナットが直接未実施である。<br>機能性 口俗機能において表 置きびが見られるので、予防保全の報<br>点から 仗況に応じた措置を 講ずることが望ましい。   |              | 0         | # #                                   | 5)98<br>81<br>6.5.1 | 2                 |           |
| 11 42,41910  | 090   | 进路线银铁件装置           | 一般回道191号          | 一般国道(祖定 国際州)  | 20 00 | 6.0            | 2.0 都進月          | na n                                     | ND県 米子県土型番馬  | ADE        | (4) 香町         | 25" 20" 12" | 134" 24 9 "  | 24-0-12         | ±48      | × #          | -62   | GL.  | 2516    |     | ٥       | F2. 1                                   | 0.1             |                    | 1 1           | 1 - 1 -                                  |           | -                | - 1       | 資給内部に滞水を確認したが、鑑金は発生していない。 資給内部<br>の深水 は監会の問題となる ため、予防協会の観点 から早期に深水<br>の除去 と間口部の保護等の 深水非辺に対する措置 を満にる必要が<br>ある。                                 |              | ٥         | ##<br>#<br>更                          | 5)98<br>81          | 1                 |           |

シェッド個別施設計画一覧表

| 製具金    | 12.8 6 4 |                    |                       |               |   |                 |           |   |        | 1000      |           |           |              |        |                              |         |      |        |         |      |         |  |                                       |      |                         |                                  |       |         |          |                       | ARI                                     | 茶 点块层体 电    | 5.缓封膏  |             |            |         |          |                               |
|--------|----------|--------------------|-----------------------|---------------|---|-----------------|-----------|---|--------|-----------|-----------|-----------|--------------|--------|------------------------------|---------|------|--------|---------|------|---------|--|---------------------------------------|------|-------------------------|----------------------------------|-------|---------|----------|-----------------------|---|-------------|--|-------------|------------|---------|----------|-------------------------------|
|        | 0881     | ,                  | E26                   | 151           | g   |                 |           |   | 91     | i di      | (1909M    | E0 91     | oug          |        |                              |         |      |        |         |      | 5.001TH |  |                                       |      |                         |                                  |       |         | V 80538  |                       |   |             |  | <b>多級計画</b> |            |         | er war o | 45,000.00                     |
| *      | 2797     | 5 20 F 6           | (1971)                | 1646          | 遊路機能  | 20 40<br>(20 8) | 現長(=) 連続課 | >=10A<br>(~)<br>(0)                                   | 8.00.6 | 912 # SAS | mana nume | Mg        | 经度           | 開催(キュ) | (-下り 葉色を<br>様 連算             | 通りの機能の一 | ## A | (SB) 2 | ran Ras | R RI | RO RO R | 10000000000000000000000000000000000000 | 関係事態 年 施設等の<br>月日 村之区分                | 地    | <b>柳</b> 盆 白柳性          | 山野市 新                            | 朝性 網交 | がかと     | 職が仕ず     | 1 M96                 | 2000年                                   | ORNER IN C. | DE AM  | 直接影響機能ファイル名 | P RE RE RE | G (61)  | 金融高      | 第4分割 再4分割 開発<br>発性所以 アイクス (株) |
|        |          |                    |                       |               | 項連合數學認在<br>一般認過例20開始<br>一般認過例20開始)<br>他認用與<br>申<br>申<br>申<br>申<br>申<br>申<br>申 |                 |           | - 高速時食性<br>- 超<br>- 超過前級<br>- 通路公性<br>- 取例的<br>- 市間的村 |        |           |           |           |              | 227    | 下線 大<br>小原 大<br>小原 大<br>小原 大 | 1       |      |        |         |      |         |  | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | - 11 | -1 -1<br>-1 -1<br>-1 -1 | : : :<br>:: :: ::<br>:: :: :: :: | RHH   | April 2 | A 100 mm | :<br>::<br>:::<br>::: | 1 |             |  |             |            | R743    | 38 R7488 | - 1<br>- 2<br>- 27            |
| 1 51,5 | 2100012  | <b>対例ロックシェッド</b> 1 | It th flotion (F-4.9) | 長祖命吉江府湾口線     | sense.  | 192年4月          | 20 8      | - 65208   | RD R   | 8子根上整備局   | Abs one   | 21.31.81  | 122, 31, 16, | ML 1   | :Till 91                     | . 4 -   | ea : | ML.    | ML 664  | 0    |         | R2. 11. 24                             |                                       |      |                         |                                  | - 1   |         |          | -                     | -                                       | - 1         | 回動性(国医、主意、機能、頂度プレーズ)に向いて再節的な配置派<br>クログラ素を発生している。 また山田、前側をレブルカリ青年だ<br>このほというあらりがあた。<br>前に頂揮が全じる可能性があるため、早期に推進を満するべきであ<br>った。                              |             |            | Co-HERE | 12       | 6                             |
| 2 51,4 | 21 00000 | 対例ロックシェッドコ         | # #5 #0(#%) (F=)      | 長砲を吉江和湾口線     | esens a   | 192年4月          | ss 7.8    | - 8278  | RD R   | 8子根土營養局   | ADS SET   | 2, 31, 5, | 122" 21" 18" | ML J   | :Till 91                     | . 4 -   | ea i | W.     | ML 664  | 0    |         | 82.11.25                               |                                       |      |                         |                                  |       | -       |          |                       | 1                                       | - 1         | 回動性(原原、主要等)において同意的な認識返少を持り回食が発生<br>している。また、血質型性に関注を持う適勝石炭が発生している。<br>確認他の音楽に同様性生じていないが、列列係全の報係から標度を提<br>することが混ました。                                       |             |            |         |          |                               |
| 3 51,4 | M50001E  | 名/前ロックシェッド         | (Att / Made (No. of ) | 長週野台日大線       | sense.  | 192年4月          | 49 6.5    | 15 <b>6588</b>  | AD: S  | 8子根土型循环   | ANA REST  | 2. 30. 2. | 133" 19" 24" | ML I   | :TH 91                       | . 4     | 88   | MI.    | ML 100  | 0    |         | F2. 10. 5                              | -                                     |      |                         | - 1                              |       | -       | -        | -   -                 | -                                       | 1 -         | 課酬(選集、機能)において報酬減少を作う協会が発生している。<br>選集に関い的なが発生しており、第二者機関的よの報告から報告工事<br>で指摘することが望ました。   |             |            | 受物      | 1.       |                               |
| 4 51,4 | M500025  | 報件等スノーシェッ          | HMARAGET              | - ADD 近1 x1 号 | -8008 (R2000 H  | 1982年11月        | 117 7     | - 8278  | RD R   | D野州土登儀坊   | 角動係 品野町   | B' 12' B' | 122" 26" 25" | ML J   | :T# -0                       | e -     | ea i | W.     | ML 941  | 0    |         | P2. 10. 6                              |                                       |      |                         | -                                |       | 1       |          |                       | 1                                       |             | 回動性(深底、主席、機関)において共働的な新面波的を行う開食が<br>参加している。また、立刻接受物を超し、機能質量から流している。<br>と他できれるまかを他している。首のにコエットが越への間を与う<br>も可能性はかないと考えられるの、予約機能の報点から問題を携する<br>ことが整金はして他である。 |             |            | 受替      | 50.      | 0                             |

| 大型カルバ              | 大型カル  |            | ■ 経優先順位一覧                       |                        |   |                |        |           |   |       |                   |            |            |              |               |          |            |             |       |                   |        |         |       |        | _                   |      |   |       |              |   |                     | 点接計畫-直接記錄-客場計畫  |              |       |           |           |               |              |     |
|--------------------|-------|------------|---------------------------------|------------------------|---|----------------|--------|-----------|---|-------|-------------------|------------|------------|--------------|---------------|----------|------------|-------------|-------|-------------------|--------|---------|-------|--------|---------------------|------|---|-------|--------------|---|---------------------|---|--------------|-------|-----------|-----------|---------------|--------------|-----|
| *****              | 200   |            | ER6                             | 2548                   |   | 建設在次 E         | 26 (a) | 540A 5400 |   | 81    | 16                |            | 行政課項       | 20.69        | DWE           | 原施療(4    | 29-T9 開業   | 88 (CB)     | 0 自奪道 | 3.0<br>3.0<br>3.0 | 进行规则   | 220     | ANITE |        |                     |      | 20  | a.T   |              | 7 X   | 48                  | KER   |              | 8     | 648213M   | #####     | 63168<br>6077 | 10,000.0     | St. |
| 2427               |       | ER6        | (2027)                          | 3549-5                 | समसा  | ORRO           |        | (m)       | <b>区分</b>   | 83506 | 884886            | #ERIR<br>6 | 7000116    | MX           | 相反            | D#RF)    | 8 2        | 6 AM        | -62   | (68)              | 21,000 | R0      | RE RE | 8081 5 | 映画版 関亜実施:<br>1月口 月口 | *で成分 | DEE SE                                    | 12 SH | 日10-<br>日10- | 機・つく  | - 4 cas             | MM.   | 点検表記録様式ファイル名 | R7 R8 | Rs Ro F   | RII       | FD R          | 6年月日<br>6年月日 | 分分  |
|                    |       |            |                                 |                        | - 中央の<br>- 中央<br>- 中<br>- 中<br>- 中<br>- 中<br>- 中<br>- 中<br>- 中<br>- 中 |                |        |           | · 與 也也即與 1<br>· 但 正明是<br>· 也 正明公社<br>· 取 令 市<br>· 市 医 町 村 |       |                   |            |            |              |               |          | 大河線 一河 河流  | -91         |       |                   |        |         |       |        |                     |      | :<br>:::::::::::::::::::::::::::::::::::: | H 12  | 一 日 明 日 一    | : 1 : 1<br>: 2 : 2<br>: 3 : 3<br>: 3 : 3<br>: 3 : 3 | : I<br>: II<br>: II |   |              |       |           | ED LLUTTE | R740M         | 100          | :   |
| 5 1,33 1610 0029   | #o5   | ウス         | 9,72.2                          | <b>保进意言 工北線</b>        | 都 进行 祭进   | 200-0          | 6.1    | 13.3 2.1  | 5 都 遊市県   | ADS   | 中部 約会等務 所采土 整備局   | SDS        | 255        | 25" 27" 26"  | 1 22" 50" 20" | 6- 6+44m | 178 B      | . *         | -608  | M.                | mu     | 9,177   |       | **     | ***                 |      |   |       | -            | - :   |                     | 機能に関る 2mmのひびわれ、ウィングに関2 2m ~0 4mのひびわれ<br>が発生している。関節点解析 より高しい道代は認められない。<br>予防保全 の組合から信置を講 ずることが望ましい。  |              |       | 0         | Do 10/05  | 1.3           |              |     |
| 53 ,31 21300 002H  | 2 90  | 180 X      | (21'96' 1973)                   | 県連 河原インタ 一線            | 医运行 吳祖  | 201 0          | 16. 0  | 7.5       | 都 退价品   | ATR   | A. 競祭土整備 事務 府     | 無政権        | 八級町        | 25" 22" 41"  | 194" 12" 52"  | ML       | :78 -      | 次有          | -8/8  | M.                | ML     | 0       |       | **     |                     |      | 1 1                                       |       | -            | - :   |                     | を第に、乾燥収縮が限因と思われる機能直角方向の ひびわれの 5〜<br>3.2mg)が見られるが、進行性 は称1~2年間 L種 連鎖祭とする。   |              | 0     | Ш         | 50 被称     | 1.0           |              |     |
| 53 ,31 21300 001H  | BOXX  | 0.7        | (#1752-1477)                    | 祭道 法万大 栄練              | 医运行 吳祖  | नका            | 15     | ε .       | - 都進力県  | ATR   | 中 郎政 合事務 所祭 土型 儀局 | 無助 県       | ±#11       | 25" 26" 52"  | 122" 42" 45"  | ML       | T 88 TH    |             | -8/8  | 電力器               | ML     | 800 O   |       | **     | ***                 | =    |   |       | -            | - 1   |                     | 機能に結ら 1m~6 2mの2万向ひびわれが多数発生している。項<br>第、発見に影響・解訴指出、うきが見られる。<br>予助保全の概念から信誉を選ずることが望ましい。  |              |       | 0         | Do 1866   | 1. 9          |              |     |
| 53 ,31 31300 000H  | 2 98  | 180 X      | (23'96' 193)                    | DESE 402.99            | 一般国 道 衛 党区 開件   | 2000           | 14. 4  | 33 -      | - 都進力県  | ADR   | 口 野県 土整備 助        | AD A       | 江府 町       | 25" 17" 46"  | 1 22" 34" 07" | ML       | 78 -       | 文 有         | -848  | M.                | ML     | 2,067   |       | **     | ***                 |      | : :                                       | -     | z            | -   |                     | 海豚、毎 壁にひびわれ、目地 部から著しい準水 が見られる。前部<br>を始から 道郎、毎世のひびわ れが連行している。<br>横部耕に ひびわれが他 じてい ることから、信意 を講することが望<br>ましい。   |              |       | 0         | Do 1866   | 9. 6          |              |     |
| 53 ,41 10000 001H  | 0 98  | 180 X      | (#30°98°792)                    | DESE 402.99            | 一級国道 衛 定期 開外  | 199.9          | 6      | 30 -      | - 都進力県  | AUR   | 口 野県 土型債 馬        | AD A       | 工作司        | 25" 17" 42"  | 1 22" 34" 02" | ML       | 78 :       | 文 有         | -608  | 電力器               | ML     | 2,067   |       | **     | ***                 |      | : :                                       | -     | z            | -   -   | . 1                 | 簡単、例 禁に多数のひびわれ、項目機能に追離 石炭が見られる。<br>前回直検 から関係、無理のひ ぴわれが連行している。<br>コンクリート機能の実施が望 ましい。   |              |       | 0         | Do 10/05  | 3.0           |              |     |
| 53 ,52 00900 001H  | e a   | Sist ox    | (8+95'98'99.2)                  | DDLE 17049             | 一般国道 强 突然 网络  | 2013           | 102. 7 | 10.5      | - 818 78  | ADR   | <b>乌</b> 取泉土型编事務府 | <b>馬取県</b> | 粉壳町        | 35,34, 33,   | 134" 19" 06"  | ML       | T # 102    | mL #        | -6/8  | 電力額               | ML     | 4,626   | 0     | **     | ***                 | 1    |   | -     |              | -   | 1                   | 無限を持し声もがあった。また、また。<br>うびわれから重大、通常工業 等は長られない、比較の利率の政策<br>考え、記録の基を提出してもいうかれてある。<br>表現、記録の基を提出していないものと判断するが、次回<br>受到の後間によるいけれたの。基準を回転して、返回<br>ののである。<br>では、これないないないないない。<br>を表現している。<br>では、これないないないないないないないない。<br>では、これないないないないないないないないない。<br>を表現れないないないないないないないないない。<br>を表現れないないないないないないないないないないないないないない。<br>を表現れないないないないないないないないないないないないないないないないないないない   |              |       | 0         | 50 ME     | 15. 5         |              |     |
| 53 ,31 21300 0004  | 8.8   | #B 011     | (/96'96'7921)                   | 国連 313号                | 一般回道 彻 突然 阿外  | 5 000 St 10    | 33. 3  |           | - 都進力展  | AUR   | 中 部終 含事商 附祭 土壓 儀局 | AD A       | 北京町        | 35" 29" 40"  | 122" 48 54"   | ML       | T 88 712   | <b>申し 有</b> | -84   | ML.               | NL.    | 3,720   | 0     | **     |                     |      |   | -     |              | -   |                     | 商助会体に対し1m-0.4m、使動に立1m-0.5mのひびわれが使<br>化している。予約体金の機合から指数を終することが変ましいと<br>するが、まだった変化は2mのひびわれてあり、近回条機能によ<br>であた。まだった変化は3mのひびわれてあり、近回条機能によ<br>であた。またった変化は3mのひむかなましていると利   |              |       | 0         | 20福度      | 4. 2          |              |     |
| 53 ,31 31300 007H  | 8.8   | gs 012     | (/ 15°16° 1522)                 | DESE 31399             | 一級国道 衛 定期 開外  | 1 000 pt (1 H) | 32. 6  |           | - 都進力県  | AUR   | 中 部款 合事商 原森 土型 儀局 | AD A       | 北米町        | 35° 29′ 38°  | 133" 48 50"   | ML       | T # 712    | # L #       | -608  | M.                | ML     | 3,720   | 0     | **     | ***                 |      | : :                                       | -     | -            | - :   |                     | 望ましいとするが、生だった 変状は薄膜のひびわれであり、ひび<br>われ関係 も北勢的やさい、戦 縁保能が常因と概 撃するが、ウィン<br>が影のひ ぴわれやサビける様 認されており、軽 連載等とする。   |              |       | 0         | Do 10/05  | 4. 2          |              |     |
| 1 1,2 33340 0006 - | 4.8   | #B 011     | (F #9F 9 # 19 XI)               | DESE 31349             | 一般国 道 衛 党区 開件   | 5 000 St 10    | 65. 2  | 5.5       | - 都進力県  | ADR   | 中 部款 合事商 附祭 土型 儀局 | AD A       | 北京町        | 35'29' 19"   | 122" 49" 42"  | ML       | T 88 712   | m L W       | -848  | M.                | ML     | 3,720   | 0     | **     | ***                 |      | : :                                       | -     | z            | -   |                     | るが、主だった変性は課題の ひびわれであり、0 2mを主体とする。 乾燥 収縮が得認と推察するが、保証のひび われや場所的なうきも確認 されており、終透観 祭とする。   |              |       | 0         | Do 1866   | 7. 3          |              |     |
| 5 3,51 4020 001H   | n a   | #B 012     | (8 195" 9 8" 19 32)             | DESE 31349             | 一条四进 街 突然 阿外  | 5 cooks frittl | 53. 9  | 9 -       | - 858 PR  | AR S  | 中 郭政 含字图 照泉 土至 偏馬 | AD A       | 北米町        | 35"29" 17"   | 133" 46" 39"  | ML       | :7 8 FES   | ML W        | -608  | м.                | ML     | 3,720   | 0     | **     |                     | -    |   |       | -            | -   |                     | 機能変換に伴うしかっくかの、機能には 1m-0.5 mmの一方向のひび<br>りれが発生している。また、北京商政場所製造しひがわい。 動場、<br>うさが発生している。 予算機 全の組合から機能を を関することが望<br>ましいとするが、まだった実 供は理解のひがわれたり、0.2mmを<br>を付えたし間隔らた影響ができた。 表現保証が可認と機能するが、 の<br>即にあるうま類の変更も構成されている。 発表機能をよるの、 の<br>かにあるうま類の変更も構成されている。 発表機能をよるの、 の<br>かにあるうま類の変更も実施しまったとなり、 発表機能をよるの、 の<br>かにあるうま類の変更も実施しまったとなり、 記述機能をよる。   |              |       | 0         | 50 MES    | 2.5           |              |     |
| 53 ,31 21300 0094  | m 20  | 88 OIC     | (# v9F 9 6" v9 22)              | DESE 212 HJ            | 一般国 直 衛 突然 阿什   | 5 000 At 11 MI | 46.7   | 7.3       | - 都進州県  | ADR   | 中 郎紋 含事務 附祭 土整 儀略 | AD A       | 281        | 35" 29" 13"  | 132" 48 35"   | ML       | T 88 TH    | <b>無し 有</b> | -84   | ML.               | ML     | 3 , 720 | 0     | **     | ****                |      |   | -     |              | - :   |                     | 報告金銭 に至ら 1mm-0 5mm、 原製に3 1mm-0 4 mmの一方向のひび<br>りれが考えている。予修を全力機会から観音を設置を登することが望<br>ましいとするが、当だった変 代は技術のひびわれてあり、次明点<br>場合において考を選集が開び、対して、影響収縮が可能で収集して<br>なった。<br>製造した。<br>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  |              | Ш     | 0         | 20 福報     | 5. 9          |              |     |
| 53 ,31 21300 006H  | 8.0   | 88 OIC     | (/ 91.96 , 192.3)               | DESE 213 HJ            | 一般国 直 衛 突然 開件   | 5000年 行動       | 25. 1  | 6.5       | - 62 PR   | ADR   | 中 郎紋 含事務 所祭 土整 儀略 | 無取 県       | 2.817      | 25" 20" 50"  | 1 22" 46" 21" | ML       | T 88 712   | ML W        | -808  | M.                | ML     | 3 , 720 | 0     | **     | ****                |      |   | -     |              |   |                     | 職業等とは、18年~4年、東京によって、400の人が打ちが、<br>としている。予防後金の機能から中間を選手できることが言えていた<br>するが、またった変化は200のひけれたであり、02000を保として<br>関係も比較からし、関係の数が関係と関するが、他間がし<br>対して研修でのひびかれか多く、異様的なうきも確認されてお  |              | 0     | 0         | 50 NES    | 9.5           |              |     |
| 5 1,11 1700 001H   | * 8   | 86 OII     | (> F*96° 1933.)                 | DESE 212 H)            | - 800 d (ii) 200 MH   | 2011           | 47. 6  | 7.6       | - 84 FA   | ADR   | 中 加松 含事務 所祭 土整 儀局 | 無政府        | 倉吉市        | 25' 25' 16"  | 122 47 27     | ML       | T 88 712   | <b>無し 有</b> | -808  | M.                | ML     | 2,833   | 0     | **     |                     |      |   | -     |              | -   |                     | をしている。予防保全の報点から特別を指することが認ましいと<br>するが、まだった実代は関係のひびわれてあり、上部運動が発発<br>何であるられた知的健康が変える他した、光流を検討しないであた<br>機関が確認されず、影響保護か可能で収集していると判断できる   |              |       | 0         | 00 MER    | 6.1           |              |     |
| 53 51 40200 00201  | * 8   | #B 012     | (5 F MF 1932)                   | 国連 313号                | 一級国道 彻 克斯阿什   | 1997年以前        | 51. 3  | 8.5       | - 82 PA   | ADR   | 中 郎政 会事務 刑務 土整 備助 | 無数無        | 自古市        | 25" 21 " 20" | 122" 45" 02"  | ML       | T 88 TH    | ML W        | -808  | M.                | ML     | 2.234   | 0     | **     |                     |      |   |       |              | -   |                     | 関係では「TOP's TOP's TOP's AND 人の情報をは、小明度な関係的には、研究<br>この、imm の (Amor) Diff print を見している。予算を全か数数から<br>関係ではずることが変ましいとするか、またっかまでは、実施は関係の<br>プラヤットをいる。TOP's End と、必要なになって、また。<br>プラヤットをいる。TOP's AND をはなったがではなった。<br>「関係の関係をなっています。<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係をなっています。」<br>「関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関係の関   |              | 0     | 0         | 20 福報     | 9.5           |              |     |
| 5 1,33 1610 001H   | ***   | N APR III. | (7 Letach Mileth)               | ISSE 3134)             | 一条医温 衛 克斯 阿什  | 5 0004£ FTEE   | 39     | 6.6       | - 62A   | ABR   | 中 部級 含事務 附祭 土型 儀局 | AD A       | 倉古市        | 25'26' 44"   | 133" 46" 26"  | ML       | :T# ##     | mL #        | -808  | ж.                | ML     | 4 , 443 | 0     | ,,     |                     |      |   |       |              | - 1   |                     | 新聞を独て3年0.1mm-0.5mm、機関10.1mm-0.4mm/0-万高のDJF<br>かれが発している。また、ウィングニン連載で戻任等 DDFがあいが発生しており、調整に同じ、維わか恵人が得られる。予防を含む<br>場合から接着を満することが変ましたいそので、まだった変化と<br>測能のDJFが大き、選集に実施を選集によったもり、影響を描います。<br>で書きるが、選集に実施を選集にあったもり、表別機能的地図り<br>で書きるが、選集に実施を選集にあったもり、表別機能的  |              | 0     | 0         | 50 ME     | 2.5           |              |     |
| 53 ,31 21300 00444 | n a   | 80 CX      | (8 s56° 5 6° 55 2)              | 祭道 大山口 停車 場線           | 都进作集进   | 200 7          | 17. 2  | 10.1      | - #4 PA   | ADA   | 米 子県 土型債 局        | 典数乘        | 大山町        | 35,39, 11,   | 1337 377 357  | ML       | T 88 THE   | ML W        | -808  | М.                | ML     | 604     | 0     | ,,     |                     |      |   |       |              | -   |                     | 東高野洋 原心性に守る hom - 0 4m。 田野江口 1mm - 0 6mのひげり<br>上 特別・2 5mm - 2 5mm - 0 4mm - 0 8mm - 2 5mm - |              |       | 0         | 50 福修     | 2.5           |              |     |
| 5 1,33 2000 001H   | n a   | ge ox      | (8+95'94'992)                   | ISSE 100 <sup>49</sup> | 一彩面 直 衛 克莱 网件   | 2012年 年前       | 20. 8  | 8.1       | - 628 AB  | ANA   | 14 子県 土型橋 司       | AD A       | <b>東部町</b> | 25'22' 46"   | 133" 30" 37"  | ML       | :7 88 THE  | mt #        | -808  | EHT               | ML     | 4,901   | 0     | **     |                     |      | 1 1                                       |       |              | - 1   |                     | ジャング に関係には一く場合というのかなから、これも、また<br>シャング に関係にはたゆうひ ジカルドウェしている。予解をから<br>組成から 標準を関することが 選ましいとするが、まだった変化は<br>関照のひ ジカルであるかに取りかない、 別様の 最初で加え 機能し<br>これる。<br>これる、またのでは、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>にない。<br>これる、<br>これる、<br>これる、<br>にない。<br>これるのでは、<br>にない。<br>これるのでは、<br>にない。<br>これるのでは、<br>にない。<br>これるのでは、<br>にない。<br>これるのでは、<br>にない。<br>これるのでは、<br>にない。<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これるのでは、<br>これなななななななななななななななななななななななななななななななななななな  |              |       | 0         | 50 福報     | 1.3           | T            |     |
| 53 JI 21200 005H   | 8.44  | 北道 路上 岩田 1 | () uferty "dog 138" 8" yd3.)    | ISSE 1 63 9)           | 一般国道(由党区同代  | 5000年 社副       | 18     | 10.25     | - 都連合集  | 為取県   | D 野祭 土型債 局        | AD A       | 四野 町       | 35"10" 39"   | 122" 19" 40"  | ML       | :T# 102    | ML W        | -602  | M.                | ML     | 1,454   | 0     | **     | ***                 |      |   |       | ı            | -   |                     | 「中の大力・一種電生物」、パキャントの対象が一下を集ま<br>する立業等で構造されている。データを認め、国際を使えませま。<br>ロー2 Am、機能制定とはあっる。2mmのリジアにの情報とている。ま<br>、型盤 配に通知でもmmのリジアに、うき、物理、熱理をはなった。<br>大力・、予防機を金融があった情報を使することが変更しているする。<br>、まだ、の大型の実施を制御のある情報を使することが変更しているする。<br>、まだ、の大型の大型を制御の 日本の人に表示策(また)、主動に<br>かった。これに、の大型の大型を制御しているが、また。<br>では、したとない。日本の参考となど表示なども、対策を行うことが<br>変更したとない。   |              |       | 0         | 10 福報     | 1.1           |              |     |
| 53_43 17100 001H   | er at | 945        | (# 9799n S)                     | 停进 安宗伯 太口 肉糖           | 都进府祭道   | 1993           | 11. 9  | 5.2       | - 都進 府県   | 鳥取県   | 口 野県 土型債 馬        | AD A       | 口膏町        | 25"14" 42"   | 139" 13" 52"  | ML       | : T 88 FES | ML N        | -802  | ML.               | ž.     | 842     | 0     | **     | ****                |      |   |       | -            | -   |                     | 機能にひびけれ、他の、1mm・0.3mm 、透露を収 を申りひびけれたが<br>を生している。別回の条件が、6の後行も見かれる。また、実施<br>知の知度で加え付うなけれ、に続けた可入している。<br>下的後年の過去から信息を関する。このでは、しょうそのが、前回<br>が、1mm・0.2mm では、2mm・2mm・2mm・2mm・2mm・2mm・2mm・2mm・2mm・2mm   |              |       | 0         | 10 福修     | 0.9           |              |     |
|                    | * 31  | MI CBOK    | (t. 8" (m) 404 - F126" 8" 19 X) | DESE 17049             | 一般回道 彻 定区 阿什  | 202.2          | 14.5   | 9.9       | - 都进力品  | 為取集   | 馬 取乘 土型債 事務 府     | AD A       | 粉長町        | 25" 25" 40"  | 1 34" 21" 57" | ML       | T 88 -     | 文 有         | -64   | ML.               | NL.    | 0       |       |        |                     |      |   |       |              |   |                     |   |              |       | $\coprod$ |           |               |              |     |
|                    | ne o  | gr−96±r1→  | (日野谷 アーテカルバート)                  | DESET 7549             | 一般国 道 衛 党区 開件   | 202.2          | 25.2   | 12.5      | - 都進力県  | AUA   | <b>科斯森土整備事務府</b>  | 典 母用       | 対表可        | 25" 25" 12"  | 194" 21" 57"  | ML       | T 88 -     | 次 有         | -84   | ML.               | ML     | 0       |       |        |                     |      |   |       |              |   |                     |   |              |       | TT        | T         |               |              |     |